

夜間救急医療体制に関する  
市民アンケート結果報告書

令和5年12月

大 分 市



# 目 次

■ 調査の概要.....	1
■ 調査結果.....	3
I あなた自身のことについて.....	3
問1 年齢.....	3
問2 居住地区.....	4
II 夜間体調不良時の行動について.....	5
問3 夜間に体調が悪くなったときの行動.....	5
問4-1 夜間に電話や受診する医療機関.....	7
問4-2 医療機関を選ぶ理由.....	10
問5 夜間に受診(電話相談)する医療機関の情報収集方法.....	12
問6 夜間に医療機関へ受診または電話相談した経験.....	14
問7 夜間に受診または電話相談した理由.....	17
問8 利用した交通手段.....	20
問9-1 夜間に受診、電話相談した医療機関.....	22
問9-2 医療機関を選んだ理由.....	25
問9-3 医療機関の満足度.....	27
問10 子どもが夜間に体調が悪くなった経験.....	29
問11 子どもが夜間に体調が悪くなった時の行動.....	32
問12 受診した医療機関への交通手段.....	34
問13-1 受診した医療機関の種類.....	36
問13-2 受診した医療機関を選んだ理由.....	39
問13-3 医療機関の満足度.....	41
III 夜間医療体制について.....	43
問14 コンビニ受診について.....	43
問15 夜間における専門外の診療.....	46
問16 夜間の加算費用について.....	49
問17 夜間当番医制について.....	52
問18 夜間急患センターについて.....	55
IV 今後の夜間医療体制について.....	58
問19 望ましい夜間医療体制.....	58
問20 夜間急患センターに望むこと.....	61
問21 夜間急患センターの望ましいか所数.....	63
問22 夜間急患センターの設置方法.....	66



## ■ 調査の概要

### 1 調査の目的・方法

調査目的	本市では、夜間の比較的軽症な救急患者を受け入れるために、地域の病院や診療所が当番制で診療を行う「夜間当番医制」を実施していますが、より質が高くかつ安定的に医療提供していくための対策を検討する基礎資料として夜間救急医療体制に関するアンケート調査を実施します。
調査地域	市内全域
調査対象	市内在住の18歳以上の市民
対象者数	5,000人
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送で調査票を配布し、返信用封筒もしくはインターネットで回答
調査期間	令和5年10月17日～令和5年10月31日

### 2 回収状況

回収状況	発送数	有効回収数	不明戻数	有効回答率
	5,000	2,464	27	49.5%
※有効回答率 有効回収数÷(発送数－不明戻数)				

	有効回収数	郵送回収数	WEB回収数
全体	2,464	1,933	531

#### 【年齢別回収状況】

年齢	有効回収数	郵送回収数	WEB回収数
10歳代	20	13	7
20歳代	153	77	76
30歳代	261	144	117
40歳代	344	209	135
50歳代	384	271	113
60歳代	420	366	54
70歳代	523	500	23
80歳以上	322	316	6
年齢不明	37	37	0

#### 【居住地区別回収状況】

居住地区	有効回収数	郵送回収数	WEB回収数
大分地区	1,082	794	288
明野地区	141	110	31
鶴崎地区	352	289	63
植田地区	415	348	67
大南地区	142	117	25
大在地区	132	97	35
坂ノ市地区	93	75	18
佐賀関地区	46	43	3
野津原地区	21	20	1
居住地区不明	40	40	0

### 3 調査結果の処理

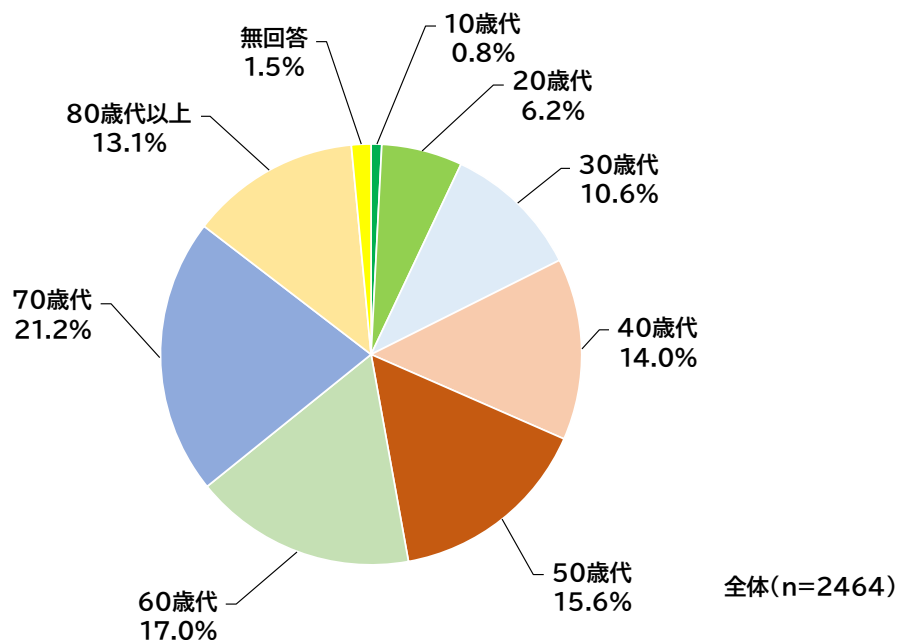
- 回答比率は、百分比の小数点第2位を四捨五入していますので、合計は必ずしも100%にならないことがあります。
- 2つ以上の回答を求めた(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超えます。
- 図に表示された「n」は、回答者数を示しています。属性別では属性無回答を除いていますので、全体の回答者数と異なる場合があります。
- 単数回答質問において2つ以上の回答をしている場合は、当該質問において対象者から除いて(無効票扱い)集計しています。
- サンプル数が少ない属性(30人未満)の回答については、調査誤差が大きいことから、分析では触れず、図表に示すのみとします。

■ 調査結果

I あなたご自身のことについて

問1 年齢

あなたの年齢を教えてください。

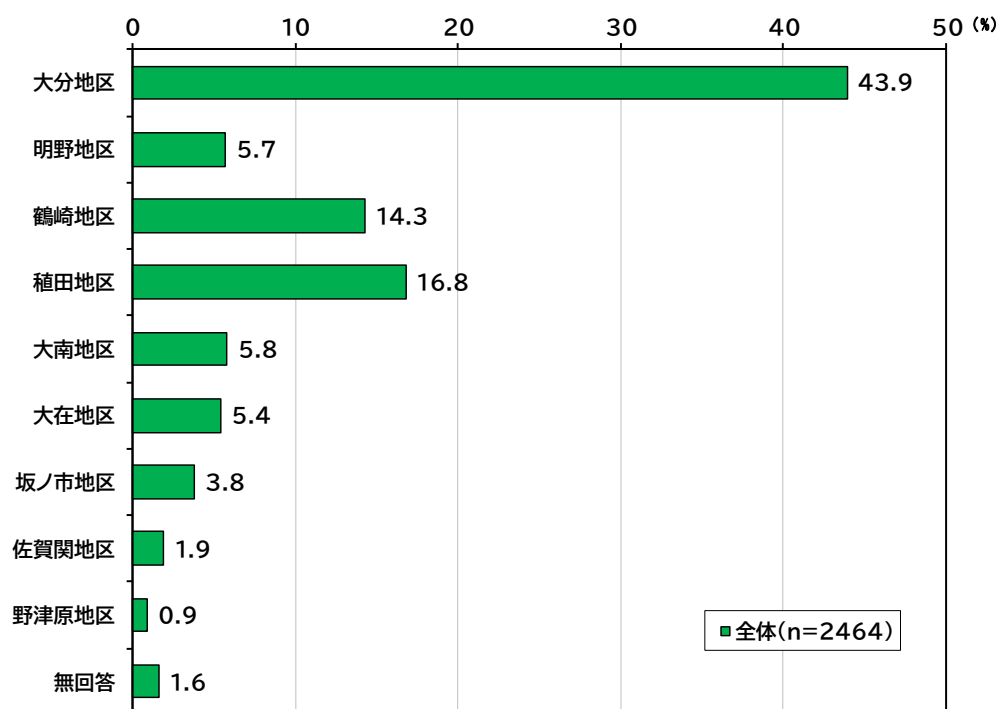


	サンプル数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	無回答
上段:実数 下段:パーセント										
全体	2464	20	153	261	344	384	420	523	322	37
	100.0	0.8	6.2	10.6	14.0	15.6	17.0	21.2	13.1	1.5

年齢をみると、「70歳代」が21.2%と最も多く、次いで「60歳代」(17.0%)、「50歳代」(15.6%)、「40歳代」(14.0%)となっています。

## 問2 居住地区

あなたの居住地区を教えてください。



	サンプル数	大分地区	明野地区	鶴崎地区	植田地区	大南地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀関地区	野津原地区	無回答
上段:実数											
下段:パーセント											
全体	2464	1082	141	352	415	142	132	93	46	21	40
	100.0	43.9	5.7	14.3	16.8	5.8	5.4	3.8	1.9	0.9	1.6

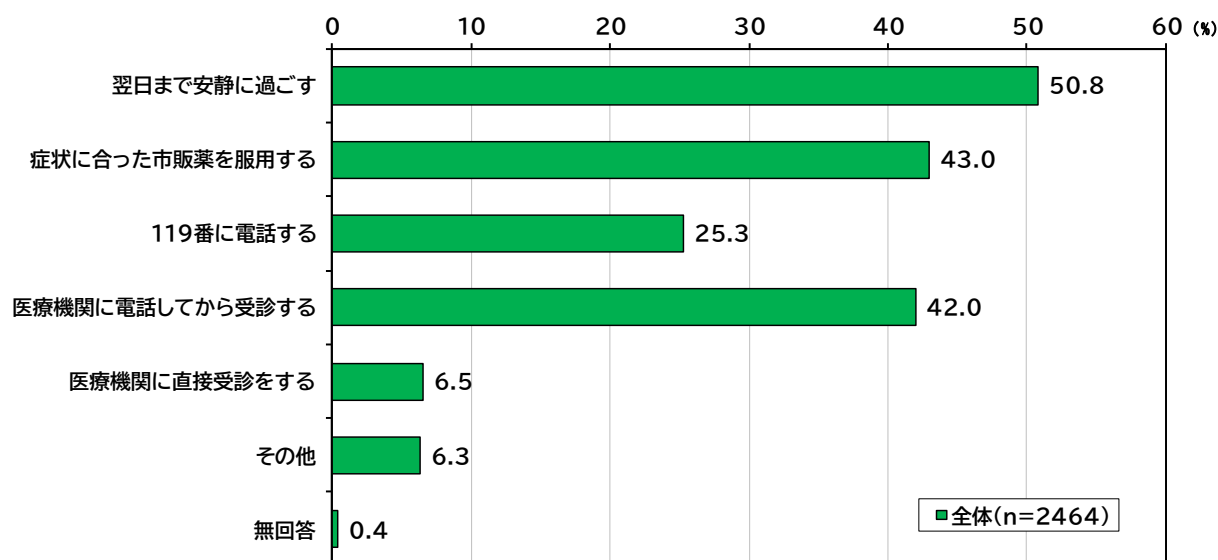
居住地区としては、「大分地区」が43.9%と最も多くなっています。次いで「植田地区」(16.8%)、「鶴崎地区」(14.3%)となっています。



## II 夜間体調不良時の行動について

### 問3 夜間に体調が悪くなったときの行動

あなた自身が、夜間に体調が悪くなったとしたら、どのような行動をとると思いますか。  
※あてはまるもの全てに○



夜間に体調が悪くなった時の行動としては、「翌日まで安静に過ごす」が 50.8%と最も多くなっています。次いで「症状に合った市販薬を服用する」(43.0%)、「医療機関に電話してから受診する」(42.0%)、「119 番に電話する」(25.3%)となっています。

#### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、「翌日まで安静に過ごす」や「症状に合った市販薬を服用する」は年齢が低いほど多くなる傾向にあり、「医療機関に電話してから受診する」や「119 番に電話する」は年齢が高くなるほど多くなる傾向にあります。
- 居住地区別にみると、どの地区も「翌日まで安静に過ごす」と「症状に合った市販薬を服用する」が多くなっていますが、特に、明野地区で多くなっています。また、佐賀関地区では「119 番に電話する」が 41.3%と最も多くなっています。

あなた自身が、夜間に体調が悪くなったとしたら、どのような行動をとると思いますか。  
※あてはまるもの全てに○

【属性別数表】

上段:実数 下段:パーセント	サンプル数	翌日まで安静に過ごす	症状に合った市販薬を服用する	119番に電話する	医療機関に電話してから受診する	医療機関に直接受診をする	その他	無回答
全体	2464 100.0	1252 50.8	1060 43.0	623 25.3	1034 42.0	160 6.5	154 6.3	10 0.4

【年齢別】

20歳代以下	173 100.0	124 71.7	99 57.2	11 6.4	44 25.4	7 4.0	6 3.5	1 0.6
30歳代	261 100.0	197 75.5	170 65.1	27 10.3	85 32.6	12 4.6	4 1.5	0 0.0
40歳代	344 100.0	214 62.2	199 57.8	46 13.4	143 41.6	13 3.8	15 4.4	0 0.0
50歳代	384 100.0	218 56.8	212 55.2	57 14.8	177 46.1	23 6.0	24 6.3	0 0.0
60歳代	420 100.0	215 51.2	174 41.4	125 29.8	221 52.6	29 6.9	28 6.7	2 0.5
70歳代以上	845 100.0	268 31.7	197 23.3	349 41.3	349 41.3	71 8.4	75 8.9	6 0.7

【居住地区別】

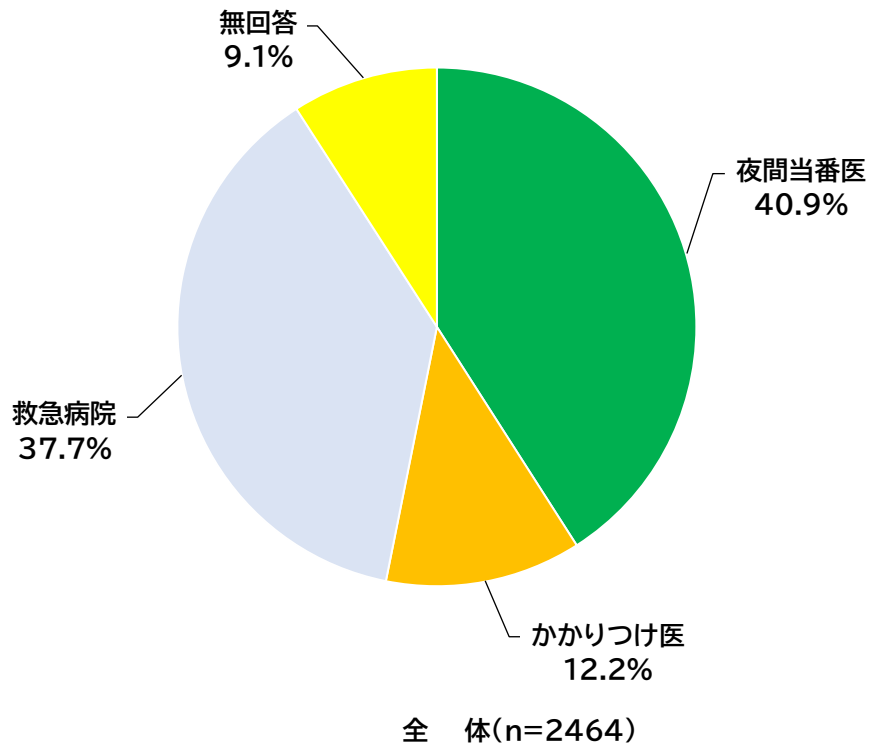
大分地区	1082 100.0	574 53.0	475 43.9	266 24.6	443 40.9	65 6.0	80 7.4	4 0.4
明野地区	141 100.0	81 57.4	71 50.4	30 21.3	50 35.5	7 5.0	7 5.0	0 0.0
鶴崎地区	352 100.0	163 46.3	141 40.1	90 25.6	159 45.2	21 6.0	16 4.5	1 0.3
植田地区	415 100.0	200 48.2	181 43.6	120 28.9	187 45.1	31 7.5	28 6.7	2 0.5
大南地区	142 100.0	71 50.0	63 44.4	31 21.8	59 41.5	14 9.9	7 4.9	1 0.7
大在地区	132 100.0	72 54.5	58 43.9	23 17.4	58 43.9	8 6.1	5 3.8	1 0.8
坂ノ市地区	93 100.0	50 53.8	41 44.1	27 29.0	35 37.6	7 7.5	6 6.5	0 0.0
佐賀関地区	46 100.0	17 37.0	13 28.3	19 41.3	16 34.8	3 6.5	3 6.5	0 0.0
野津原地区	21 100.0	8 38.1	6 28.6	7 33.3	11 52.4	0 0.0	1 4.8	0 0.0

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの

※サンプル数が少ない属性(30人未満)の回答については、調査誤差が大きいため、分析では触れず、図表に示すのみとします。(以下、同様。)

#### 問4-1 夜間に電話や受診する医療機関

あなた自身が、夜間に医療機関へ電話や受診をしたら、どのような医療機関にしたいと思いますか。



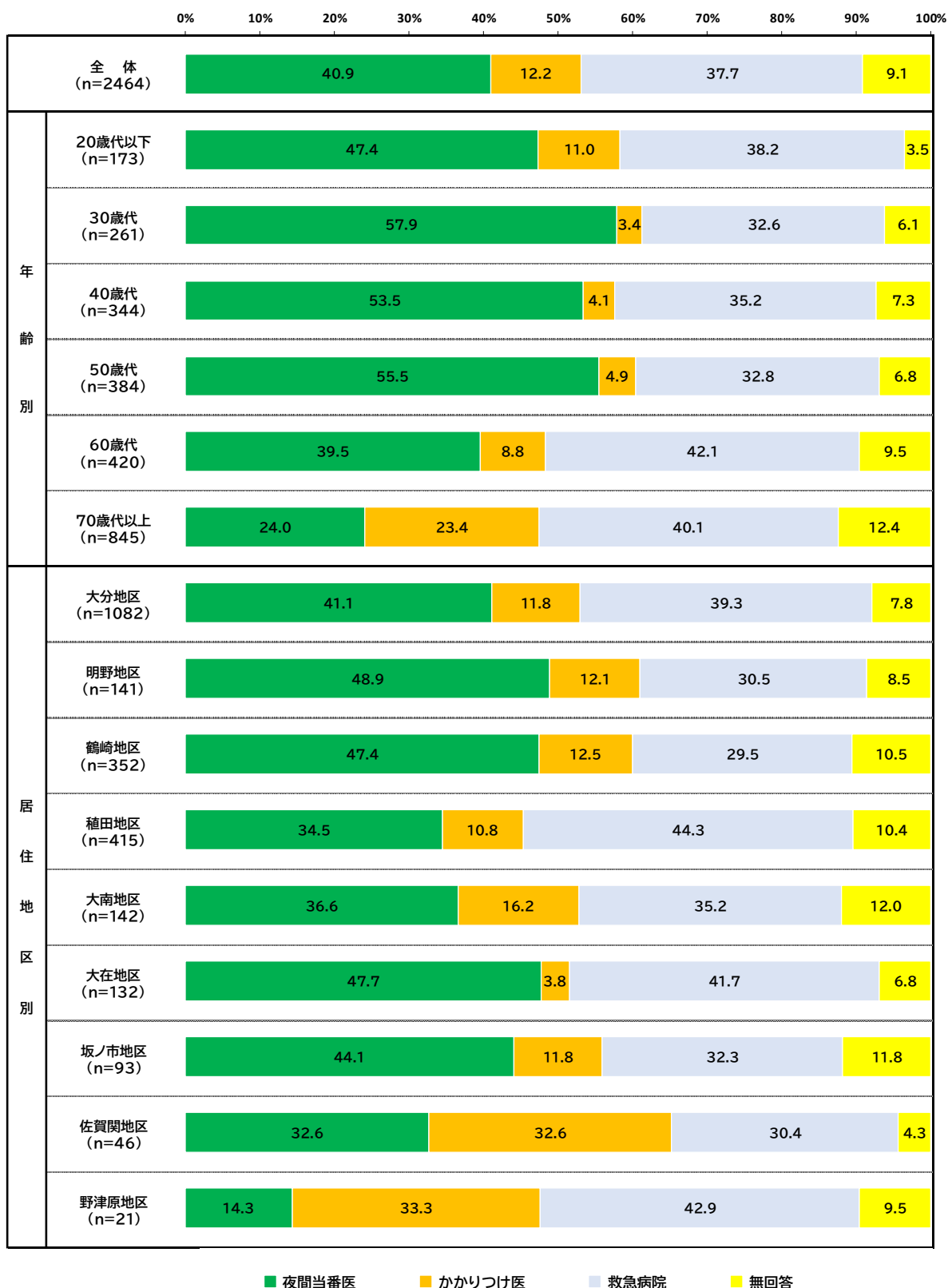
夜間に医療機関へ電話や受診する医療機関としては、「夜間当番医」が 40.9%と最も多く、「救急病院」が 37.7%、「かかりつけ医」は 12.2%と少なくなっています。

#### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、30～50 歳代では「夜間当番医」が半数を超え、70 歳代以上では「かかりつけ医」が 23.4%、60 歳代以上では「救急病院」が4割台と多くなっています。
- 居住地区別にみると、明野地区、鶴崎地区、大在地区では「夜間当番医」、植田地区では「救急病院」が多くなっています。また、佐賀関地区では「夜間当番医」、「かかりつけ医」、「救急病院」が3割台で並んでいます。

あなた自身が、夜間に医療機関へ電話や受診をするとしたら、どのような医療機関にしたいと思いますか。

【属性別グラフ】



あなた自身が、夜間に医療機関へ電話や受診をするとしたら、どのような医療機関にしたいと思いますか。

【属性別数表】

上段:実数 下段:パーセント	サンプル数	夜間 当番医	か かり つけ 医	救 急 病 院	無 回 答
全 体	2464 100.0	1009 40.9	301 12.2	929 37.7	225 9.1

【年齢別】

20歳代以下	173 100.0	82 47.4	19 11.0	66 38.2	6 3.5
30歳代	261 100.0	151 57.9	9 3.4	85 32.6	16 6.1
40歳代	344 100.0	184 53.5	14 4.1	121 35.2	25 7.3
50歳代	384 100.0	213 55.5	19 4.9	126 32.8	26 6.8
60歳代	420 100.0	166 39.5	37 8.8	177 42.1	40 9.5
70歳代以上	845 100.0	203 24.0	198 23.4	339 40.1	105 12.4

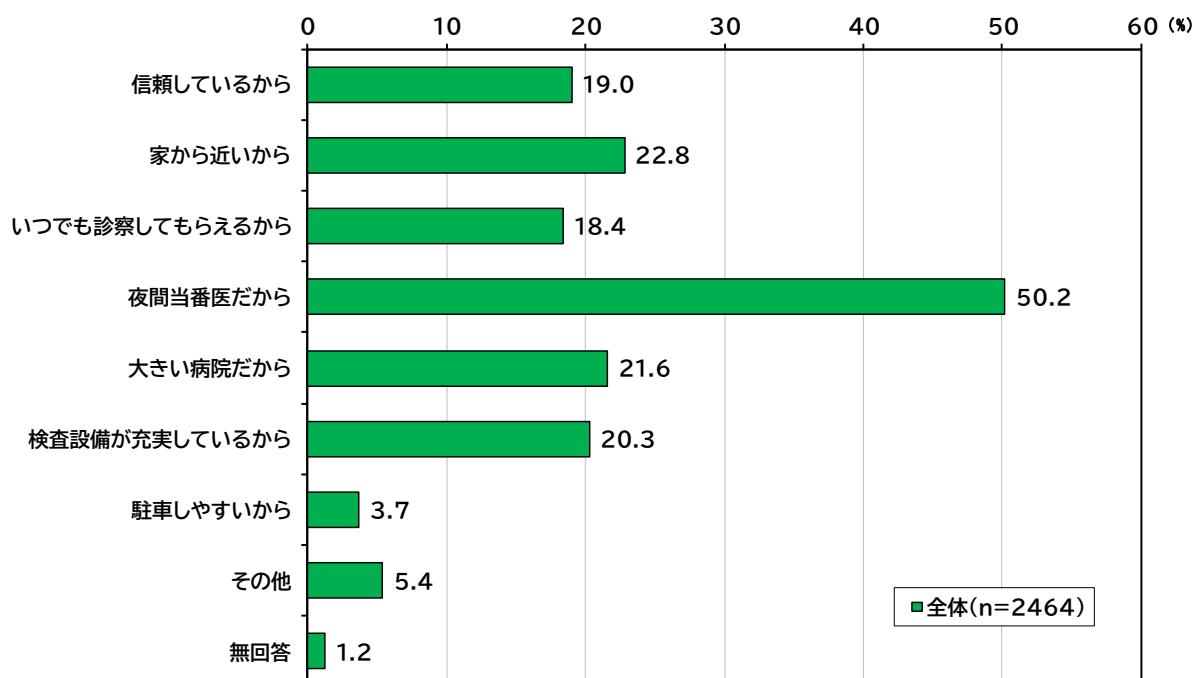
【居住地区別】

大分地区	1082 100.0	445 41.1	128 11.8	425 39.3	84 7.8
明野地区	141 100.0	69 48.9	17 12.1	43 30.5	12 8.5
鶴崎地区	352 100.0	167 47.4	44 12.5	104 29.5	37 10.5
穂田地区	415 100.0	143 34.5	45 10.8	184 44.3	43 10.4
大南地区	142 100.0	52 36.6	23 16.2	50 35.2	17 12.0
大在地区	132 100.0	63 47.7	5 3.8	55 41.7	9 6.8
坂ノ市地区	93 100.0	41 44.1	11 11.8	30 32.3	11 11.8
佐賀関地区	46 100.0	15 32.6	15 32.6	14 30.4	2 4.3
野津原地区	21 100.0	3 14.3	7 33.3	9 42.9	2 9.5

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの

#### 問4-2 医療機関を選ぶ理由

その医療機関を選択する理由は何ですか。 ※あてはまるもの全てに○



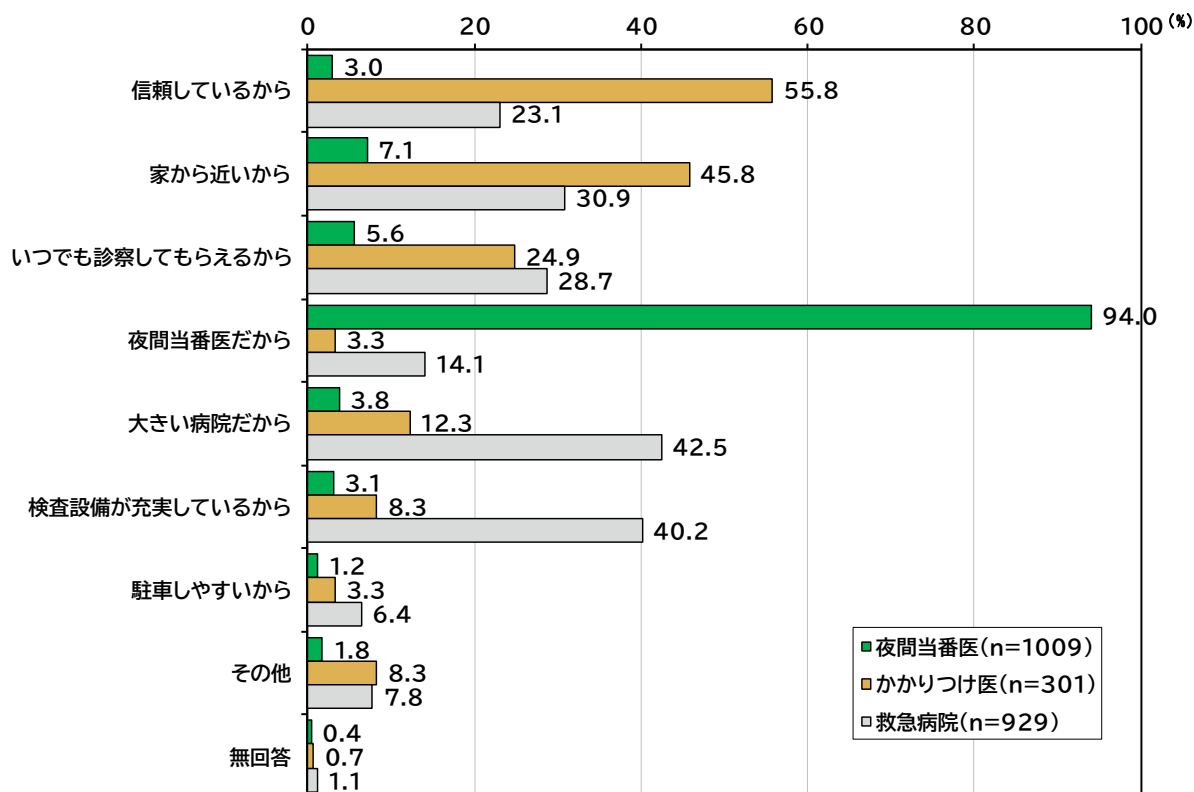
夜間に医療機関へ電話や受診する医療機関を選択する理由としては、「夜間当番医だから」が50.2%と最も多くなっています。次いで「家から近いから」(22.8%)、「大きい病院だから」(21.6%)、「検査設備が充実しているから」(20.3%)、「信頼しているから」(19.0%)、「いつでも診察してもらえるから」(18.4%)が2割前後で並んでいます。

#### 【医療機関別特徴】

- 選んだ医療機関別にみると、夜間当番医は「夜間当番医だから」(94.0%)、かかりつけ医は「信頼しているから」(55.8%)、救急病院は「大きい病院だから」(42.5%)が最も多くなっています。また、かかりつけ医では「家から近いから」(45.8%)、救急病院では「検査設備が充実しているから」(40.2%)も多くなっています。

その医療機関を選択する理由は何ですか。 ※あてはまるもの全てに○

【医療機関別グラフ・数表】



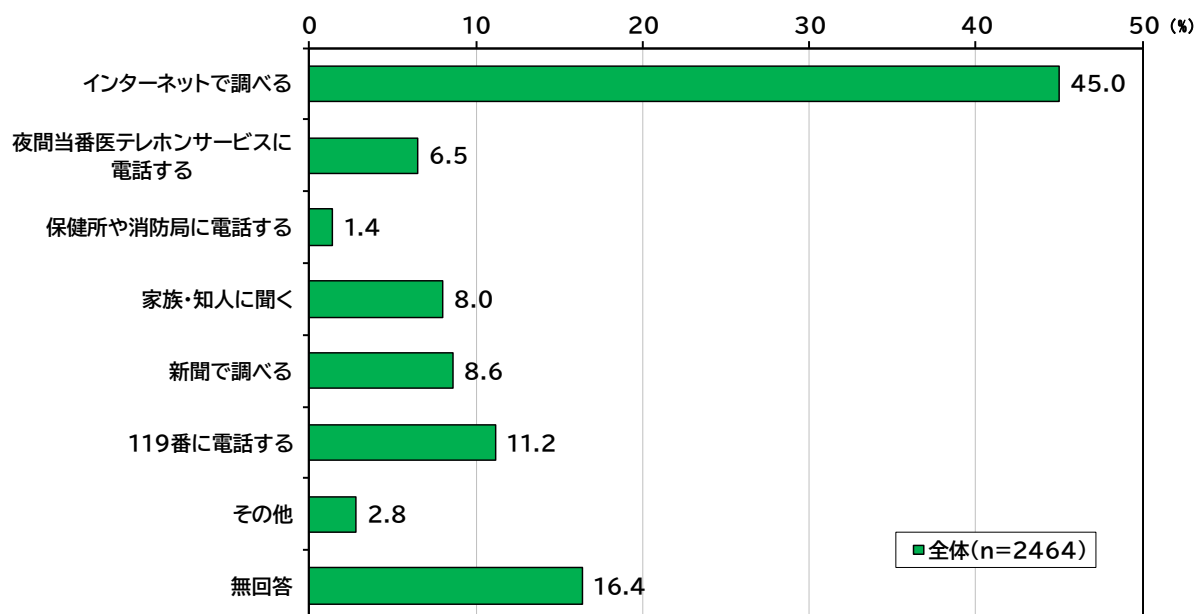
上段:実数 下段:パーセント	サンプル数	信頼しているから	家から近いから	いつでも診察してもらえるから	夜間当番医だから	大きい病院だから	検査設備が充実しているから	駐車しやすいから	その他	無回答
全体	2464	469	561	454	1238	531	500	92	134	29
	100.0	19.0	22.8	18.4	50.2	21.6	20.3	3.7	5.4	1.2

医療機関別	サンプル数	信頼しているから	家から近いから	いつでも診察してもらえるから	夜間当番医だから	大きい病院だから	検査設備が充実しているから	駐車しやすいから	その他	無回答
夜間当番医	1009	30	72	56	948	38	31	12	18	4
	100.0	3.0	7.1	5.6	94.0	3.8	3.1	1.2	1.8	0.4
かかりつけ医	301	168	138	75	10	37	25	10	25	2
	100.0	55.8	45.8	24.9	3.3	12.3	8.3	3.3	8.3	0.7
救急病院	929	215	287	267	131	395	373	59	72	10
	100.0	23.1	30.9	28.7	14.1	42.5	40.2	6.4	7.8	1.1

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの

## 問5 夜間に受診（電話相談）する医療機関の情報収集方法

夜間に受診（電話相談）するとしたら、どのような手段で医療機関を調べますか。



夜間に受診（電話相談）する医療機関を調べる方法としては、「インターネットで調べる」が45.0%と最も多くなっています。次いで「119番に電話する」が11.2%となっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、50歳代以下では「インターネットで調べる」が6～8割を占め、特に30歳代では83.5%に達しています。70歳代以上では「119番に電話する」が23.0%と多くなっています。
- 居住地区別にみると、大在地区では「インターネットで調べる」が56.1%と半数を超えています。また、佐賀関地区では「インターネットで調べる」は15.2%と少なく、「119番に電話する」(21.7%)、「家族・知人に聞く」(19.6%)、「新聞で調べる」(17.4%)が多くなっています。



夜間に受診（電話相談）するとしたら、どのような手段で医療機関を調べますか。

【属性別数表】

上段:実数 下段:パーセント	サンプル数	インターネットで調べる	夜間当番医に電話する	保健所や消防局に電話する	家族・知人に聞く	新聞で調べる	119番に電話する	その他	無回答
全体	2464 100.0	1109 45.0	160 6.5	34 1.4	196 8.0	213 8.6	277 11.2	70 2.8	405 16.4

【年齢別】

20歳代以下	173 100.0	128 <b>74.0</b>	5 2.9	2 1.2	20 11.6	1 0.6	2 1.2	1 0.6	14 8.1
30歳代	261 100.0	218 <b>83.5</b>	5 1.9	2 0.8	6 2.3	3 1.1	6 2.3	0 0.0	21 8.0
40歳代	344 100.0	267 <b>77.6</b>	14 4.1	3 0.9	6 1.7	9 2.6	11 3.2	1 0.3	33 9.6
50歳代	384 100.0	260 <b>67.7</b>	11 2.9	3 0.8	8 2.1	26 6.8	17 4.4	7 1.8	52 13.5
60歳代	420 100.0	155 36.9	38 9.0	5 1.2	22 5.2	57 <b>13.6</b>	40 9.5	9 2.1	94 22.4
70歳代以上	845 100.0	75 8.9	86 10.2	19 2.2	126 <b>14.9</b>	113 13.4	194 <b>23.0</b>	51 6.0	181 21.4

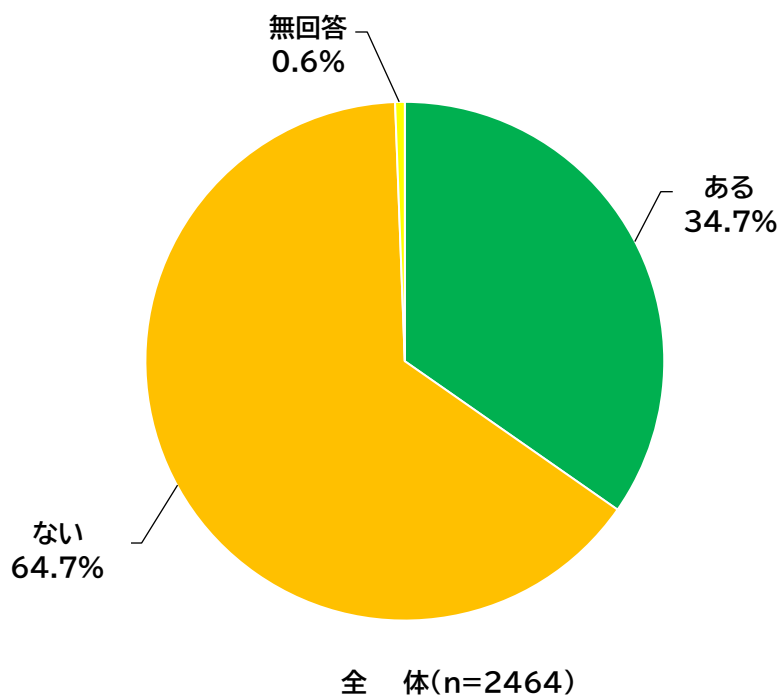
【居住地区別】

大分地区	1082 100.0	538 49.7	63 5.8	17 1.6	84 7.8	54 5.0	128 11.8	23 2.1	175 16.2
明野地区	141 100.0	67 47.5	11 7.8	2 1.4	8 5.7	17 12.1	12 8.5	2 1.4	22 15.6
鶴崎地区	352 100.0	162 46.0	23 6.5	3 0.9	24 6.8	48 <b>13.6</b>	31 8.8	10 2.8	51 14.5
植田地区	415 100.0	157 37.8	31 7.5	8 1.9	29 7.0	48 11.6	47 11.3	21 5.1	74 17.8
大南地区	142 100.0	56 39.4	6 4.2	1 0.7	20 <b>14.1</b>	15 10.6	14 9.9	6 4.2	24 16.9
大在地区	132 100.0	74 <b>56.1</b>	14 10.6	2 1.5	7 5.3	10 7.6	10 7.6	2 1.5	13 9.8
坂ノ市地区	93 100.0	39 41.9	5 5.4	1 1.1	5 5.4	9 9.7	10 10.8	1 1.1	23 24.7
佐賀関地区	46 100.0	7 15.2	3 6.5	0 0.0	9 <b>19.6</b>	8 <b>17.4</b>	10 <b>21.7</b>	1 2.2	8 17.4
野津原地区	21 100.0	1 4.8	2 9.5	0 0.0	2 9.5	1 4.8	6 <b>28.6</b>	3 <b>14.3</b>	6 28.6

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの

## 問6 夜間に医療機関へ受診または電話相談した経験

あなた自身が、これまでに夜間に医療機関へ受診または電話相談したことがありますか。



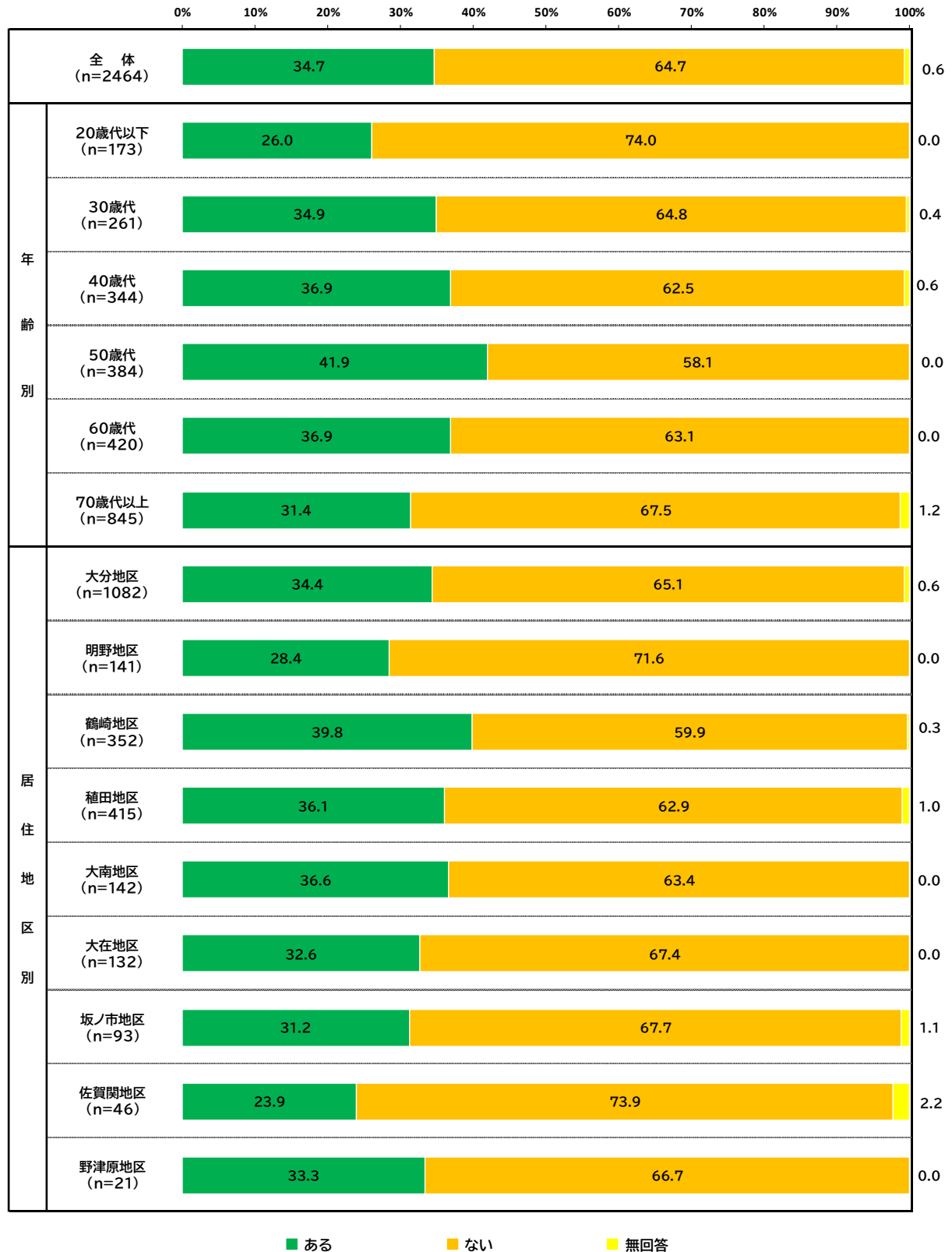
夜間に医療機関へ受診または電話相談した経験については、「ある」が 34.7%、「ない」が 64.7%となっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、受診経験がある(「はい」)割合は、20 歳代以下で 26.0%と最も少なく、30 歳代で 34.9%、40 歳代で 36.9%、50 歳代で 41.9%と最も多くなり、60 歳代では 36.9%、70 歳代以上では 31.4%と少なくなっています。
- 居住地区別にみると、受診経験がある(「はい」)割合は、鶴崎地区で 39.8%と最も多く、明野地区(28.4%)、佐賀関地区(23.9%)では2割台と少なくなっています。

あなた自身が、これまでに夜間に医療機関へ受診または電話相談したことがありますか。

【属性別グラフ】



あなた自身が、これまでに夜間に医療機関へ受診または電話相談したことがありますか。

【属性別数表】

	サンプル数	ある	ない	無回答
上段:実数 下段:パーセント				
全体	2464 100.0	856 34.7	1594 64.7	14 0.6

【年齢別】

20歳代以下	173 100.0	45 26.0	128 <b>74.0</b>	0 0.0
30歳代	261 100.0	91 34.9	169 64.8	1 0.4
40歳代	344 100.0	127 36.9	215 62.5	2 0.6
50歳代	384 100.0	161 <b>41.9</b>	223 58.1	0 0.0
60歳代	420 100.0	155 36.9	265 63.1	0 0.0
70歳代以上	845 100.0	265 31.4	570 67.5	10 1.2

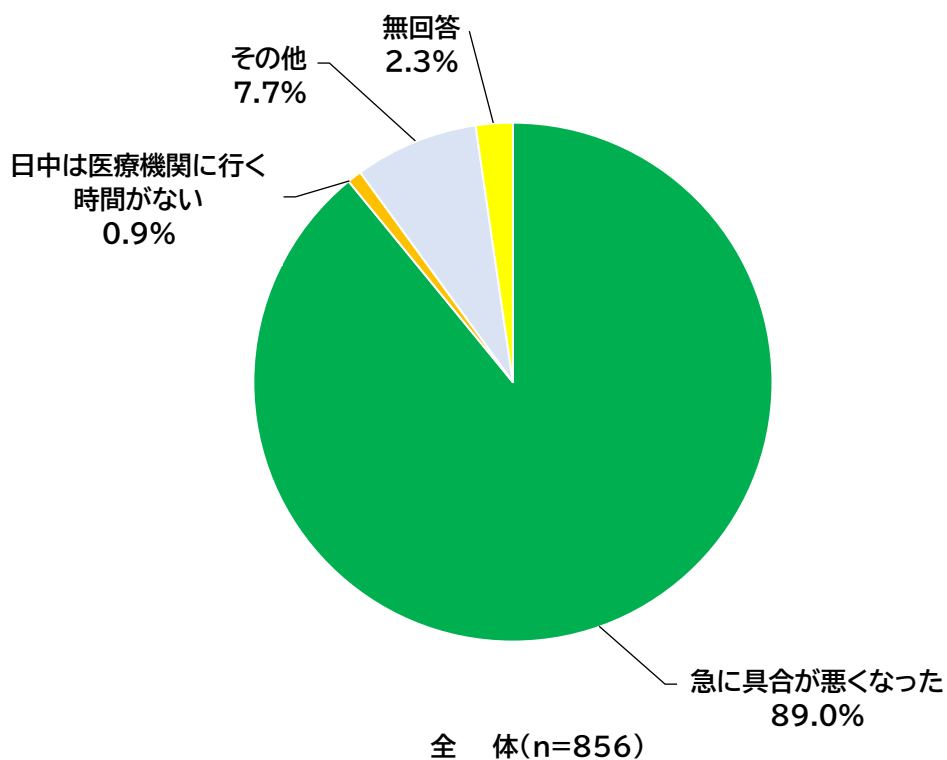
【居住地区別】

大分地区	1082 100.0	372 34.4	704 65.1	6 0.6
明野地区	141 100.0	40 28.4	101 <b>71.6</b>	0 0.0
鶴崎地区	352 100.0	140 <b>39.8</b>	211 59.9	1 0.3
穂田地区	415 100.0	150 36.1	261 62.9	4 1.0
大南地区	142 100.0	52 36.6	90 63.4	0 0.0
大在地区	132 100.0	43 32.6	89 67.4	0 0.0
坂ノ市地区	93 100.0	29 31.2	63 67.7	1 1.1
佐賀関地区	46 100.0	11 23.9	34 <b>73.9</b>	1 2.2
野津原地区	21 100.0	7 33.3	14 66.7	0 0.0

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの

## 問7 夜間に受診または電話相談した理由

(問6で「1. ある」とお答えした方にお聞きします)  
夜間に受診または電話相談した理由を教えてください。



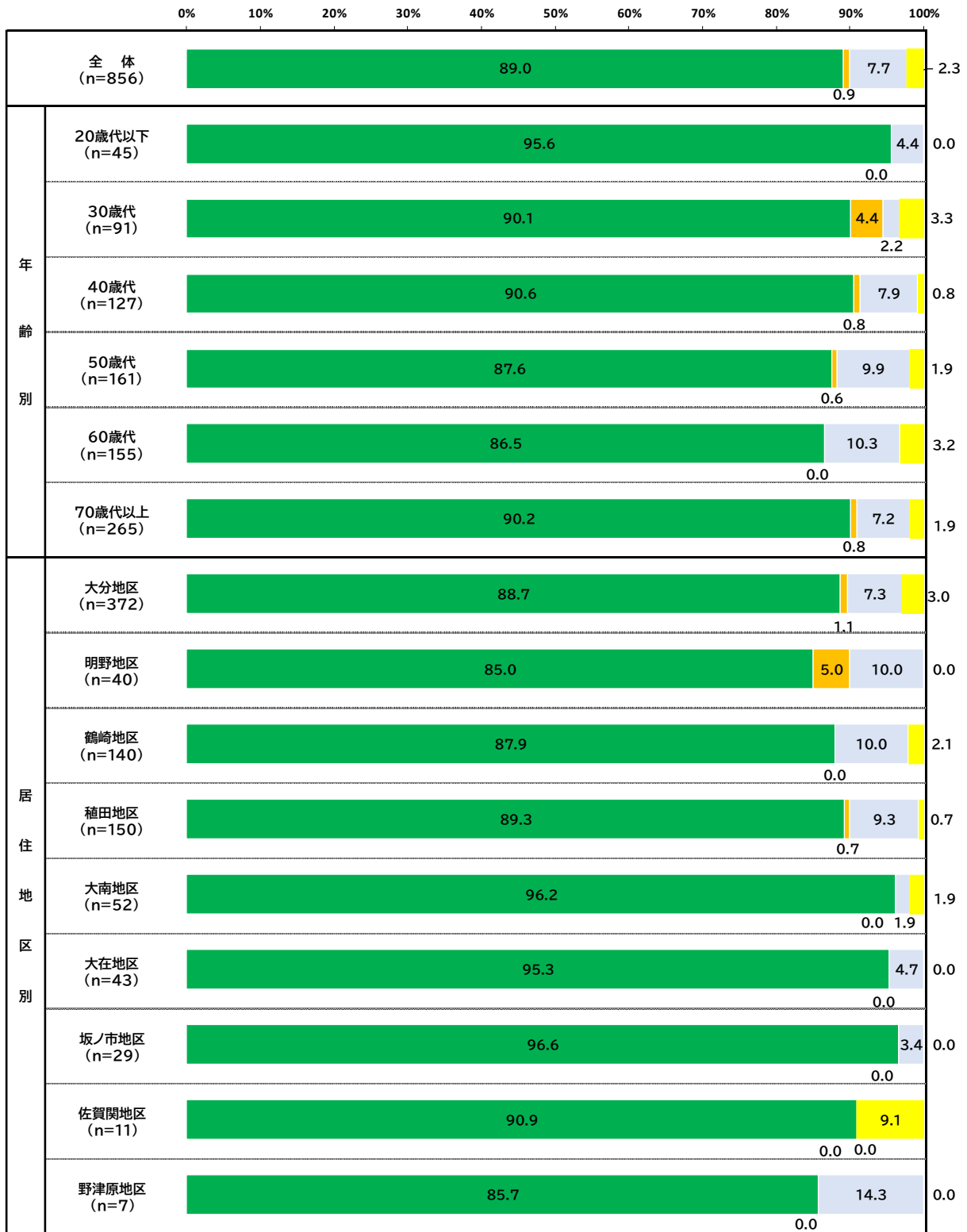
夜間に受診または電話相談した理由としては、「急に具合が悪くなった」が89.0%と圧倒的に多くなっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、すべての年齢層で「急に具合が悪くなった」が圧倒的に多くなっています。
- 居住地区別にみると、すべての地区で「急に具合が悪くなった」が圧倒的に多くなっています。

(問6で「1. ある」とお答えした方にお聞きします)  
夜間に受診または電話相談した理由を教えてください。

【属性別グラフ】



■ 急に具合が悪くなった ■ 日中は医療機関に行く時間がない ■ その他 ■ 無回答

(問6で「1. ある」とお答えした方にお聞きします)  
夜間に受診または電話相談した理由を教えてください。

【属性別数表】

上段:実数 下段:パーセント	サンプル数	急に具合が悪くなった	日中は医療機関に行く時間がない	その他	無回答
全体	856 100.0	762 89.0	8 0.9	66 7.7	20 2.3

【年齢別】

20歳代以下	45 100.0	43 <b>95.6</b>	0 0.0	2 4.4	0 0.0
30歳代	91 100.0	82 90.1	4 4.4	2 2.2	3 3.3
40歳代	127 100.0	115 90.6	1 0.8	10 7.9	1 0.8
50歳代	161 100.0	141 87.6	1 0.6	16 9.9	3 1.9
60歳代	155 100.0	134 86.5	0 0.0	16 10.3	5 3.2
70歳代以上	265 100.0	239 90.2	2 0.8	19 7.2	5 1.9

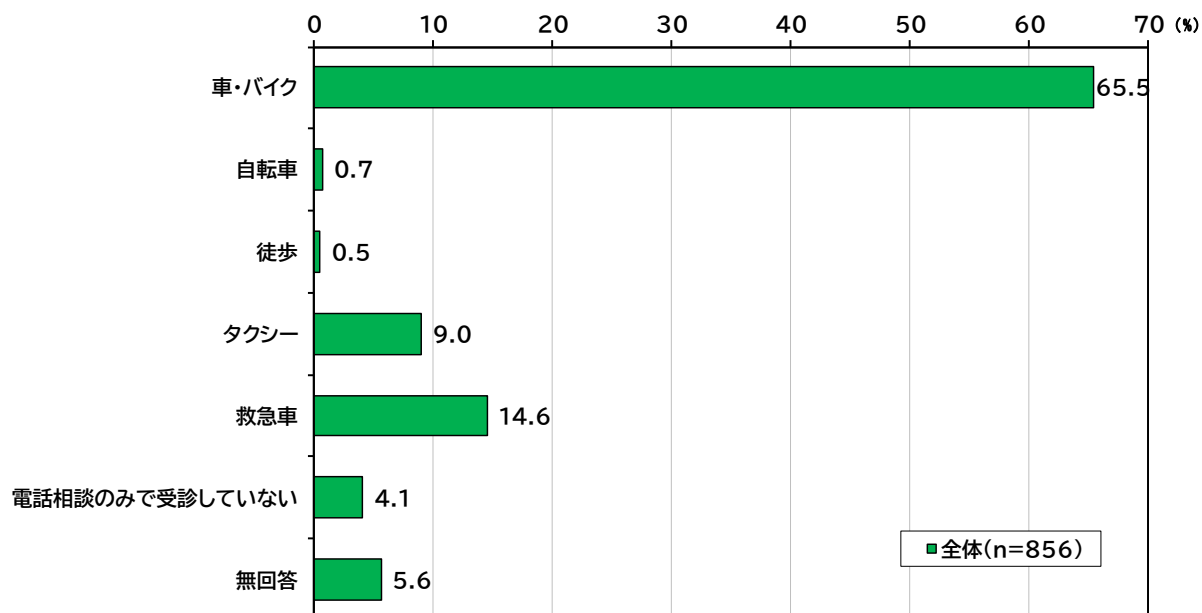
【居住地区別】

大分地区	372 100.0	330 88.7	4 1.1	27 7.3	11 3.0
明野地区	40 100.0	34 85.0	2 5.0	4 10.0	0 0.0
鶴崎地区	140 100.0	123 87.9	0 0.0	14 10.0	3 2.1
穂田地区	150 100.0	134 89.3	1 0.7	14 9.3	1 0.7
大南地区	52 100.0	50 <b>96.2</b>	0 0.0	1 1.9	1 1.9
大在地区	43 100.0	41 <b>95.3</b>	0 0.0	2 4.7	0 0.0
坂ノ市地区	29 100.0	28 <b>96.6</b>	0 0.0	1 3.4	0 0.0
佐賀関地区	11 100.0	10 90.9	0 0.0	0 0.0	1 9.1
野津原地区	7 100.0	6 85.7	0 0.0	1 <b>14.3</b>	0 0.0

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの

## 問8 利用した交通手段

(問6で「1. ある」とお答えした方にお聞きします)  
受診した時の交通手段は何ですか。



受診した医療機関までの交通手段としては、「車・バイク」が 65.5%と最も多くなっています。次いで「救急車」(14.6%)、「タクシー」(9.0%)となっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、すべての年齢層で「車・バイク」が最も多くなっていますが、70 歳代以上では「救急車」も 27.5%と多くなっています。
- 居住地区別にみると、すべての地区で「車・バイク」が最も多くなっています。



(問6で「1. ある」とお答えした方にお聞きします)  
 受診した時の交通手段は何ですか。

【属性別数表】

	サンプル数	車・バイク	自転車	徒歩	タクシー	救急車	電話相談のみで受診していない	無回答
上段:実数 下段:パーセント								
全体	856 100.0	561 65.5	6 0.7	4 0.5	77 9.0	125 14.6	35 4.1	48 5.6

【年齢別】

20歳以下	45 100.0	32 71.1	0 0.0	0 0.0	2 4.4	4 8.9	5 11.1	2 4.4
30歳代	91 100.0	69 75.8	3 3.3	1 1.1	4 4.4	8 8.8	4 4.4	2 2.2
40歳代	127 100.0	98 77.2	1 0.8	0 0.0	12 9.4	4 3.1	9 7.1	3 2.4
50歳代	161 100.0	126 78.3	1 0.6	2 1.2	10 6.2	10 6.2	5 3.1	7 4.3
60歳代	155 100.0	101 65.2	0 0.0	0 0.0	14 9.0	25 16.1	5 3.2	10 6.5
70歳代以上	265 100.0	128 48.3	1 0.4	1 0.4	35 13.2	73 27.5	6 2.3	21 7.9

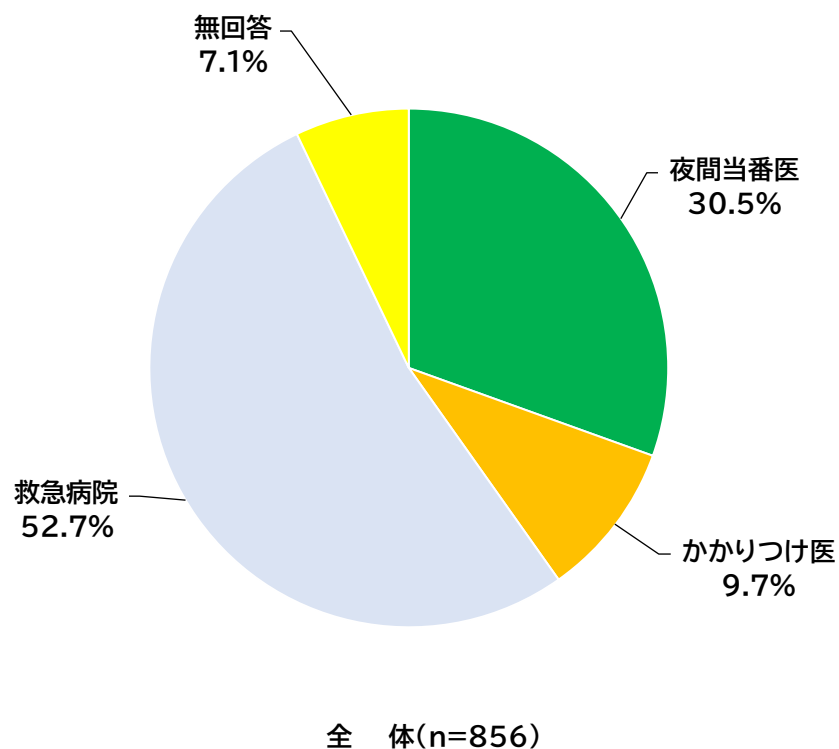
【居住地区別】

大分地区	372 100.0	225 60.5	2 0.5	3 0.8	46 12.4	57 15.3	22 5.9	17 4.6
明野地区	40 100.0	31 77.5	0 0.0	0 0.0	1 2.5	6 15.0	1 2.5	1 2.5
鶴崎地区	140 100.0	99 70.7	1 0.7	0 0.0	12 8.6	15 10.7	3 2.1	10 7.1
穂田地区	150 100.0	99 66.0	1 0.7	1 0.7	11 7.3	22 14.7	5 3.3	11 7.3
大南地区	52 100.0	35 67.3	0 0.0	0 0.0	1 1.9	11 21.2	2 3.8	3 5.8
大在地区	43 100.0	33 76.7	2 4.7	0 0.0	2 4.7	4 9.3	1 2.3	1 2.3
坂ノ市地区	29 100.0	21 72.4	0 0.0	0 0.0	3 10.3	4 13.8	0 0.0	1 3.4
佐賀関地区	11 100.0	6 54.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 36.4	0 0.0	1 9.1
野津原地区	7 100.0	5 71.4	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの

## 問9-1 夜間に受診、電話相談した医療機関

(問6で「1. ある」とお答えした方にお聞きします)  
どのような医療機関でしたか。



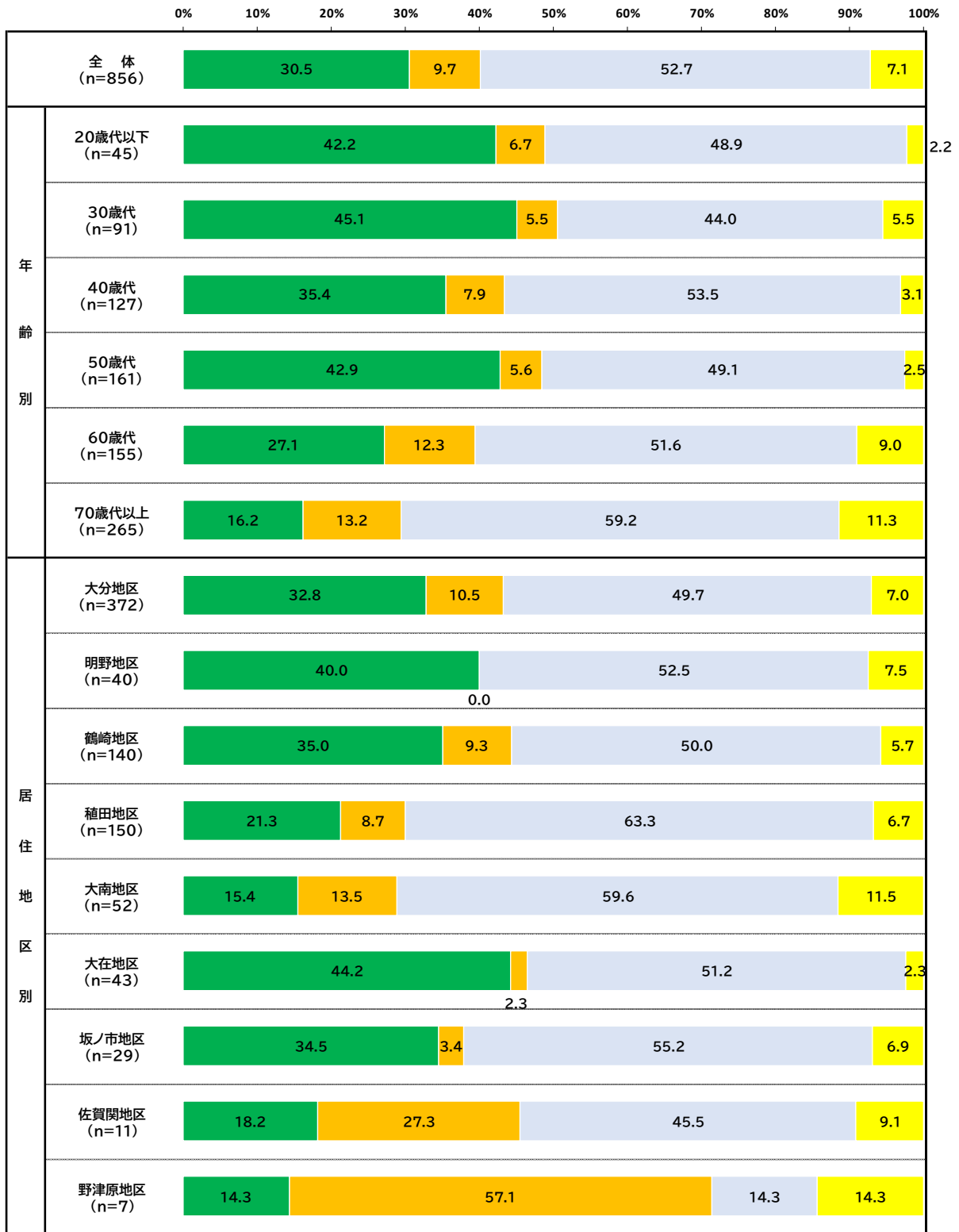
夜間に受診、電話した医療機関としては、「救急病院」が 52.7%と最も多くなっています。次いで「夜間当番医」が 30.5%、「かかりつけ医」は 9.7%と少なくなっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、30歳代以外では「救急病院」が最も多くなっています。30歳代では「夜間当番医」と「救急病院」が拮抗しています。「かかりつけ医」は60歳代(12.3%)、70歳代以上(13.2%)で多くなっています。
- 居住地区別にみると、どの地区も「救急病院」が最も多くなっていますが、「夜間当番医」が大在地区(44.2%)、明野地区(40.0%)で多くなっています。

(問6で「1. ある」とお答えした方にお聞きします)  
 どのような医療機関でしたか。

【属性別グラフ】



■ 夜間当番医    ■ かかりつけ医    ■ 救急病院    ■ 無回答

(問6で「1. ある」とお答えした方にお聞きします)  
 どのような医療機関でしたか。

【属性別数表】

	サンプル数	夜間当番医	かかりつけ医	救急病院	無回答
上段:実数 下段:パーセント					
全体	856 100.0	261 30.5	83 9.7	451 52.7	61 7.1

【年齢別】

20歳代以下	45 100.0	19 42.2	3 6.7	22 48.9	1 2.2
30歳代	91 100.0	41 45.1	5 5.5	40 44.0	5 5.5
40歳代	127 100.0	45 35.4	10 7.9	68 53.5	4 3.1
50歳代	161 100.0	69 42.9	9 5.6	79 49.1	4 2.5
60歳代	155 100.0	42 27.1	19 12.3	80 51.6	14 9.0
70歳代以上	265 100.0	43 16.2	35 13.2	157 59.2	30 11.3

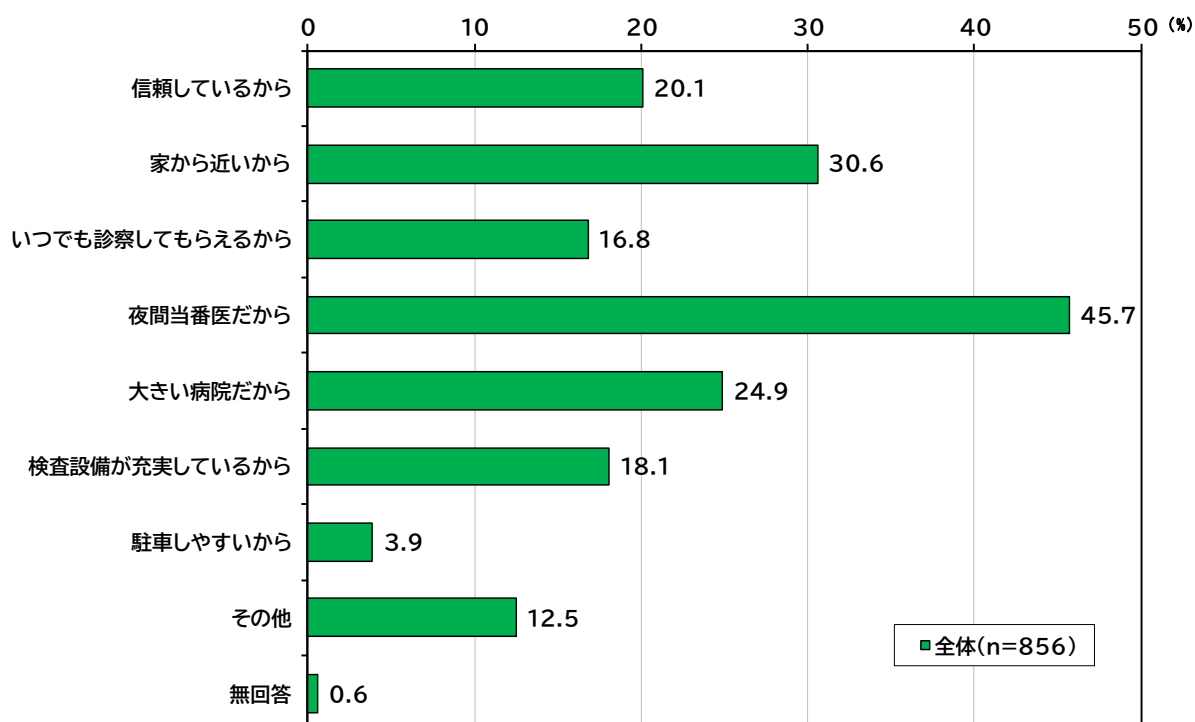
【居住地区別】

大分地区	372 100.0	122 32.8	39 10.5	185 49.7	26 7.0
明野地区	40 100.0	16 40.0	0 0.0	21 52.5	3 7.5
鶴崎地区	140 100.0	49 35.0	13 9.3	70 50.0	8 5.7
穂田地区	150 100.0	32 21.3	13 8.7	95 63.3	10 6.7
大南地区	52 100.0	8 15.4	7 13.5	31 59.6	6 11.5
大在地区	43 100.0	19 44.2	1 2.3	22 51.2	1 2.3
坂ノ市地区	29 100.0	10 34.5	1 3.4	16 55.2	2 6.9
佐賀関地区	11 100.0	2 18.2	3 27.3	5 45.5	1 9.1
野津原地区	7 100.0	1 14.3	4 57.1	1 14.3	1 14.3

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの

## 問9-2 医療機関を選んだ理由

(問6で「1. ある」とお答えした方にお聞きします)  
その医療機関を選択した理由は何ですか。 ※あてはまるもの全てに○



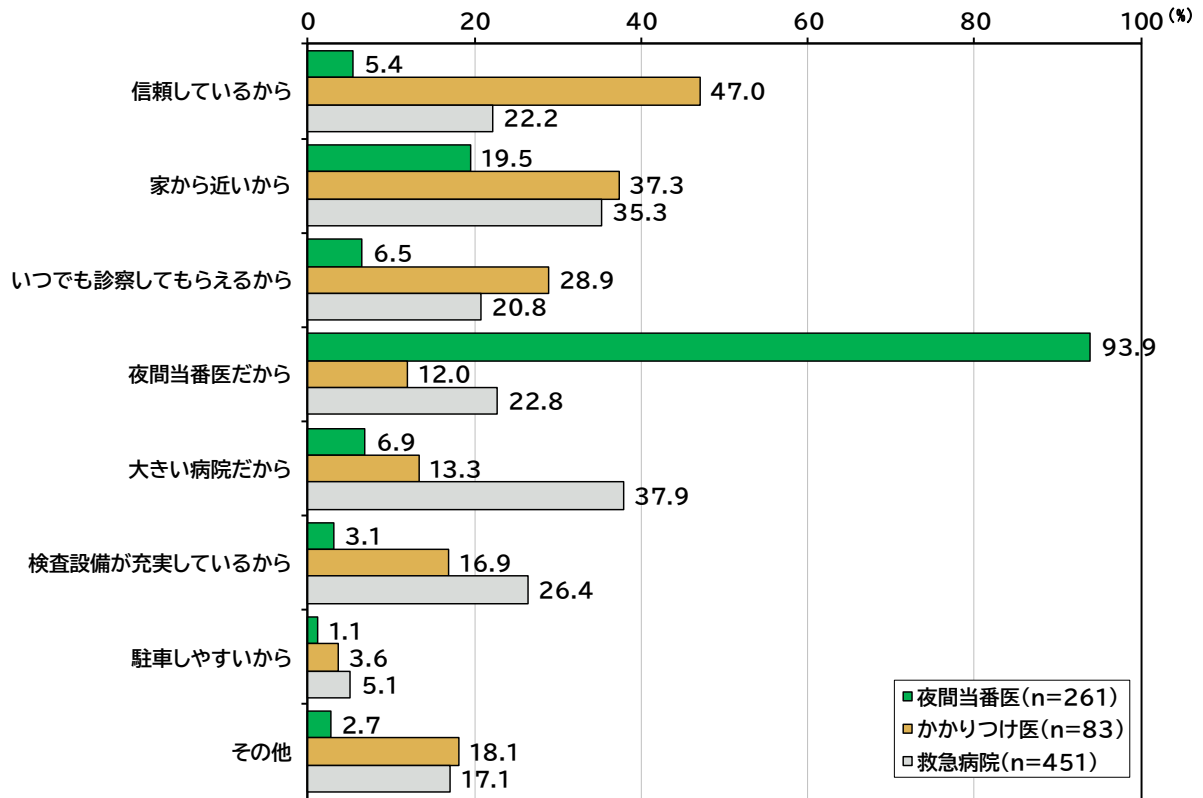
夜間に受診、電話相談した医療機関を選んだ理由としては、「夜間当番医だから」が 45.7%と最も多くなっています。次いで「家から近いから」(30.6%)、「大きい病院だから」(24.9%)、「信頼しているから」(20.1%)、「検査設備が充実しているから」(18.1%)、「いつでも診察してもらえるから」(16.8%)となっています。

### 【医療機関別特徴】

- 医療機関別にみると、夜間当番医では「夜間当番医だから」(93.9%)が圧倒的に多くなっています。救急病院は「大きい病院だから」(37.9%)、「家から近い」(35.3%)、「検査設備が充実しているから」(26.4%)、かかりつけ医は「信頼しているから」(47.0%)、「家から近いから」(37.3%)、「いつでも診察してもらえるから」(28.9%)が多くなっています。

問9-2 (問6で「1. ある」とお答えした方にお聞きします)  
 その医療機関を選択した理由は何ですか。 ※あてはまるもの全てに○

【医療機関別グラフ・数表】



上段:実数 下段:パーセント	サンプル数	信頼しているから	家から近いから	いつでも診察してもらえるから	夜間当番医だから	大きい病院だから	検査設備が充実しているから	駐車しやすいから	その他	無回答
		全体	856 100.0	172 20.1	262 30.6	144 16.8	391 45.7	213 24.9	155 18.1	33 3.9

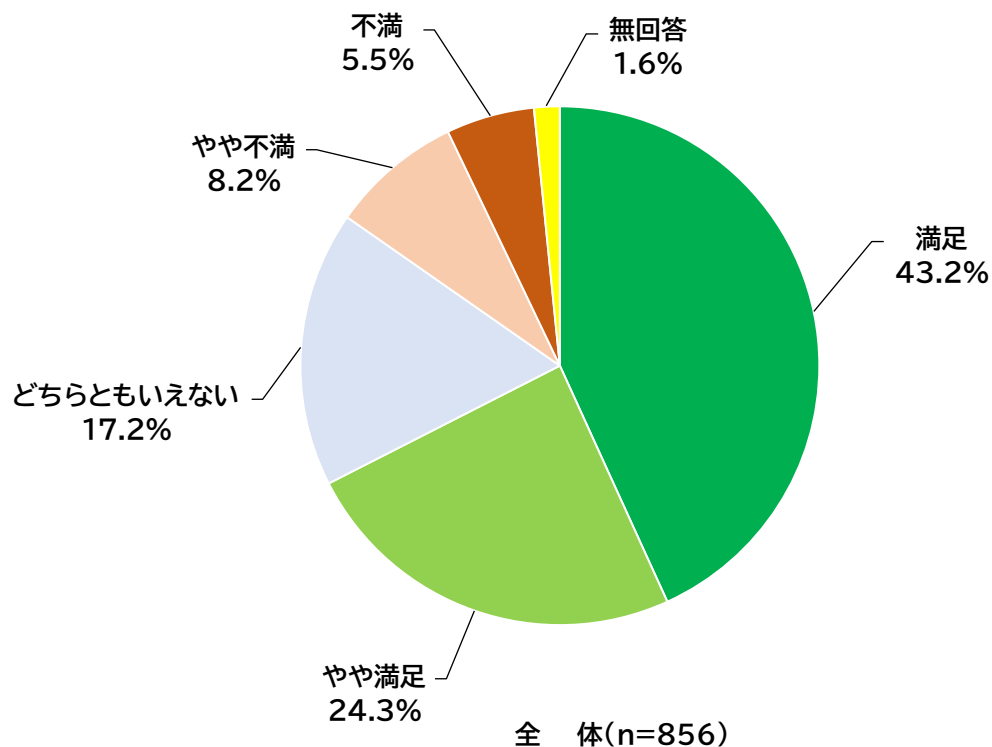
【医療機関別】

医療機関	サンプル数	信頼しているから	家から近いから	いつでも診察してもらえるから	夜間当番医だから	大きい病院だから	検査設備が充実しているから	駐車しやすいから	その他	無回答
夜間当番医	261 100.0	14 5.4	51 19.5	17 6.5	245 93.9	18 6.9	8 3.1	3 1.1	7 2.7	0 0.0
かかりつけ医	83 100.0	39 47.0	31 37.3	24 28.9	10 12.0	11 13.3	14 16.9	3 3.6	15 18.1	0 0.0
救急病院	451 100.0	100 22.2	159 35.3	94 20.8	103 22.8	171 37.9	119 26.4	23 5.1	77 17.1	0 0.0

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの

### 問9-3 医療機関の満足度

(問6で「1. ある」とお答えした方にお聞きします)  
受診または電話相談した時の感想を教えてください。



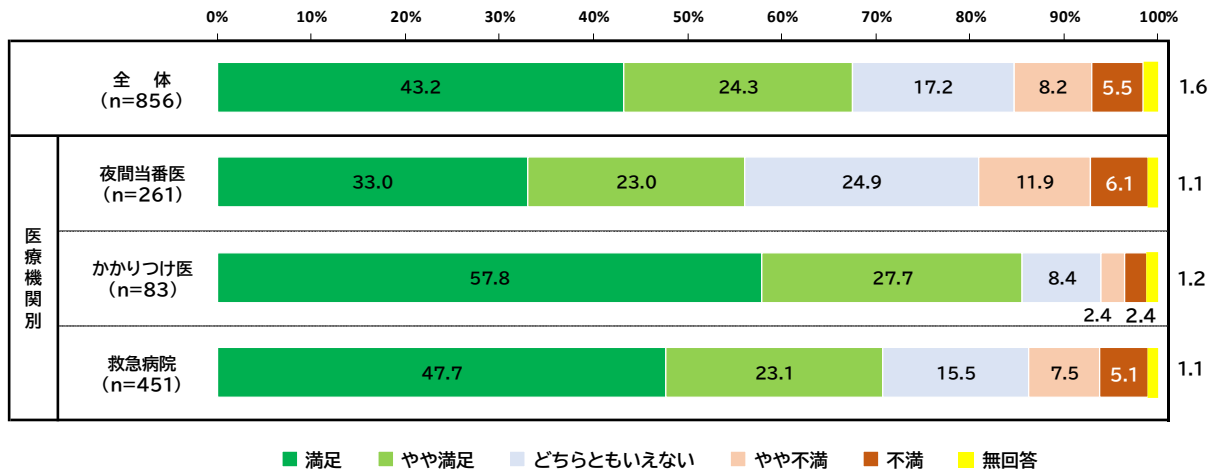
受診または電話相談した時の医療機関に対する感想としては、「満足」が 43.2%、「やや満足」が 24.3%、両者を合計した満足している割合は 67.5%となっています。一方、不満の割合 13.7%（「やや不満」8.2%+「不満」5.5%）となっています。また、「どちらともいえない」が 17.2%となっています。

#### 【医療機関別特徴】

- 医療機関別にみると、満足している割合は、かかりつけ医が 85.5%と最も多く、救急病院が 70.8%、夜間当番医が 56.0%となっています。

(問6で「1. ある」とお答えした方にお聞きします)  
 受診または電話相談した時の感想を教えてください。

【医療機関別グラフ・数表】



	サンプル数	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
上段:実数 下段:パーセント							
全体	856	370	208	147	70	47	14
	100.0	43.2	24.3	17.2	8.2	5.5	1.6

【医療機関別】

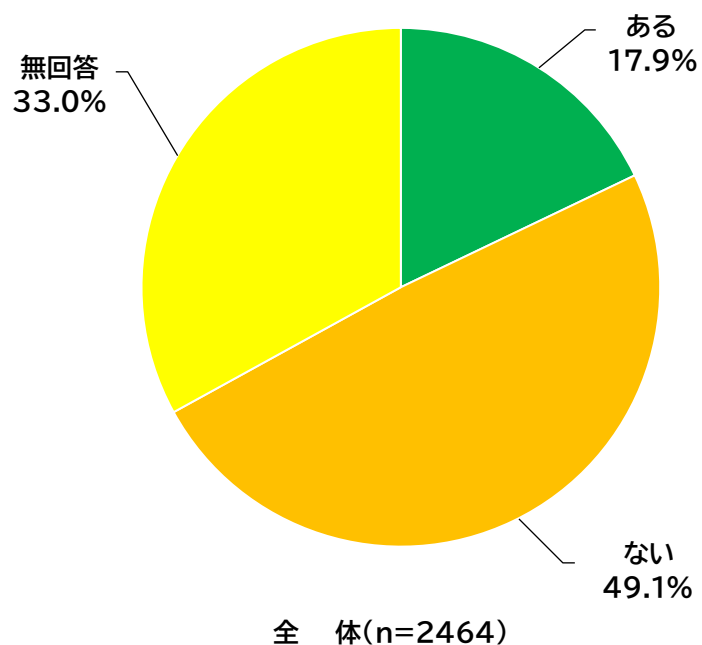
夜間当番医	261	86	60	65	31	16	3
	100.0	33.0	23.0	<b>24.9</b>	11.9	6.1	1.1
かかりつけ医	83	48	23	7	2	2	1
	100.0	<b>57.8</b>	27.7	8.4	2.4	2.4	1.2
救急病院	451	215	104	70	34	23	5
	100.0	47.7	23.1	15.5	7.5	5.1	1.1

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの



## 問10 子どもが夜間に体調が悪くなった経験

現在15歳以下の子どもがいる方で、その子どもが夜間に体調が悪くなった経験がありますか。



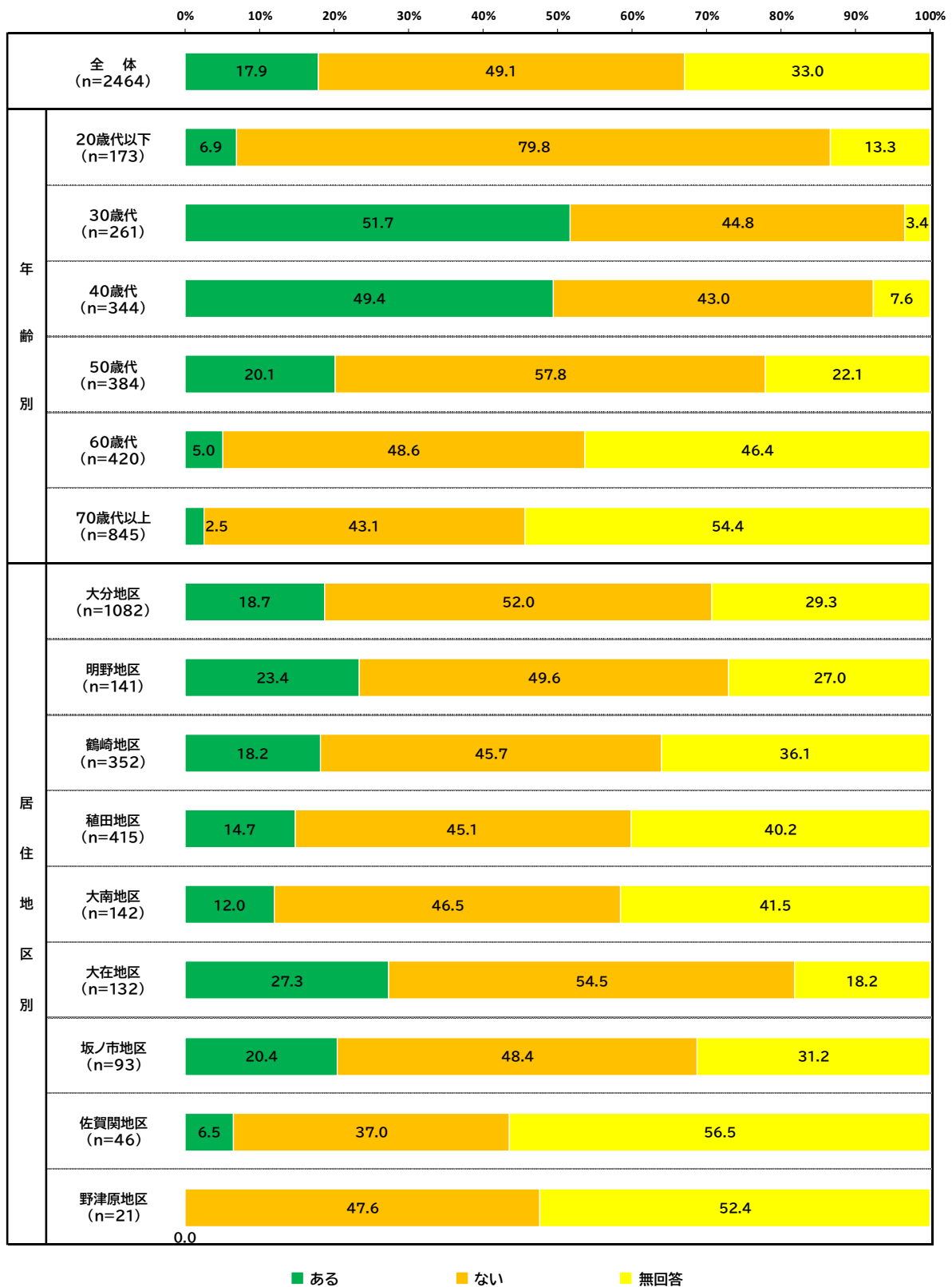
15歳以下の子どもが夜間に体調が悪くなった経験としては、「ある」が17.9%、「ない」が49.1%となっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、「ある」は、30歳代で51.7%、40歳代で49.4%と多くなっています。
- 居住地区別にみると、「ある」は、大在地区(27.3%)、明野地区(23.4%)、坂ノ市地区(20.4%)で2割台と多くなっています。

現在 15 歳以下の子どもがいる方で、その子どもが夜間に体調が悪くなった経験がありますか。

【属性別グラフ】



現在 15 歳以下の子どもがいる方で、その子どもが夜間に体調が悪くなった経験がありますか。

【属性別数表】

	サンプル数	ある	ない	無回答
上段:実数 下段:パーセント				
全 体	2464 100.0	441 17.9	1211 49.1	812 33.0

【年齢別】

20歳代以下	173 100.0	12 6.9	138 <b>79.8</b>	23 13.3
30歳代	261 100.0	135 <b>51.7</b>	117 44.8	9 3.4
40歳代	344 100.0	170 <b>49.4</b>	148 43.0	26 7.6
50歳代	384 100.0	77 20.1	222 <b>57.8</b>	85 22.1
60歳代	420 100.0	21 5.0	204 48.6	195 46.4
70歳代以上	845 100.0	21 2.5	364 43.1	460 54.4

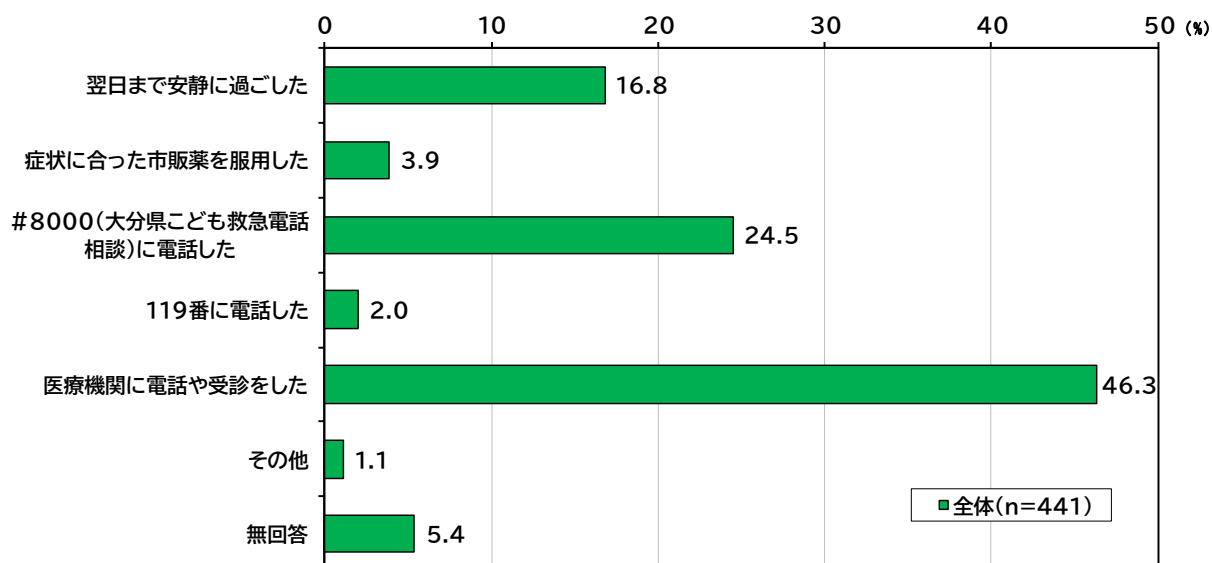
【居住地区別】

大分地区	1082 100.0	202 18.7	563 52.0	317 29.3
明野地区	141 100.0	33 <b>23.4</b>	70 49.6	38 27.0
鶴崎地区	352 100.0	64 18.2	161 45.7	127 36.1
穂田地区	415 100.0	61 14.7	187 45.1	167 40.2
大南地区	142 100.0	17 12.0	66 46.5	59 41.5
大在地区	132 100.0	36 <b>27.3</b>	72 <b>54.5</b>	24 18.2
坂ノ市地区	93 100.0	19 20.4	45 48.4	29 31.2
佐賀関地区	46 100.0	3 6.5	17 37.0	26 56.5
野津原地区	21 100.0	0 0.0	10 47.6	11 52.4

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの

## 問11 子どもが夜間に体調が悪くなった時の行動

(問10で「1. ある」とお答えした方にお聞きします)  
その時にどのような行動をとりましたか。直近のケースでお答えください。



15歳以下の子どもが夜間に体調が悪くなった時の行動としては、「医療機関に電話や受診をした」が46.3%と最も多くなっています。次いで「#8000(大分県子ども救急電話相談)に電話した」(24.5%)、「翌日まで安静に過ごした」(16.8%)となっています。

「症状に合った市販薬を服用した」(3.9%)や「119番に電話した」(2.0%)は少なくなっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、「医療機関に電話や受診をした」は50歳代以上で多く、「#8000(大分県子ども救急電話相談)に電話した」は30歳代以下で多くなっています。

(問10で「1. ある」とお答えした方にお聞きします)  
その時にどのような行動をとりましたか。直近のケースでお答えください。

【属性別数表】

上段:実数 下段:パーセント	サンプル数	た翌日まで安静に過ごした	症状に合った市販薬を服用した	電話でも救急電話相談(大分県)に	119番に電話した	医療機関に電話や受診をした	その他	無回答
全体	441 100.0	74 16.8	17 3.9	108 24.5	9 2.0	204 46.3	5 1.1	24 5.4

【年齢別】

20歳代以下	12 100.0	1 8.3	1 8.3	5 41.7	1 8.3	4 33.3	0 0.0	0 0.0
30歳代	135 100.0	29 21.5	3 2.2	47 34.8	2 1.5	44 32.6	1 0.7	9 6.7
40歳代	170 100.0	32 18.8	11 6.5	40 23.5	3 1.8	78 45.9	1 0.6	5 2.9
50歳代	77 100.0	12 15.6	0 0.0	11 14.3	2 2.6	46 59.7	2 2.6	4 5.2
60歳代	21 100.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	18 85.7	1 4.8	1 4.8
70歳代以上	21 100.0	0 0.0	1 4.8	3 14.3	0 0.0	12 57.1	0 0.0	5 23.8

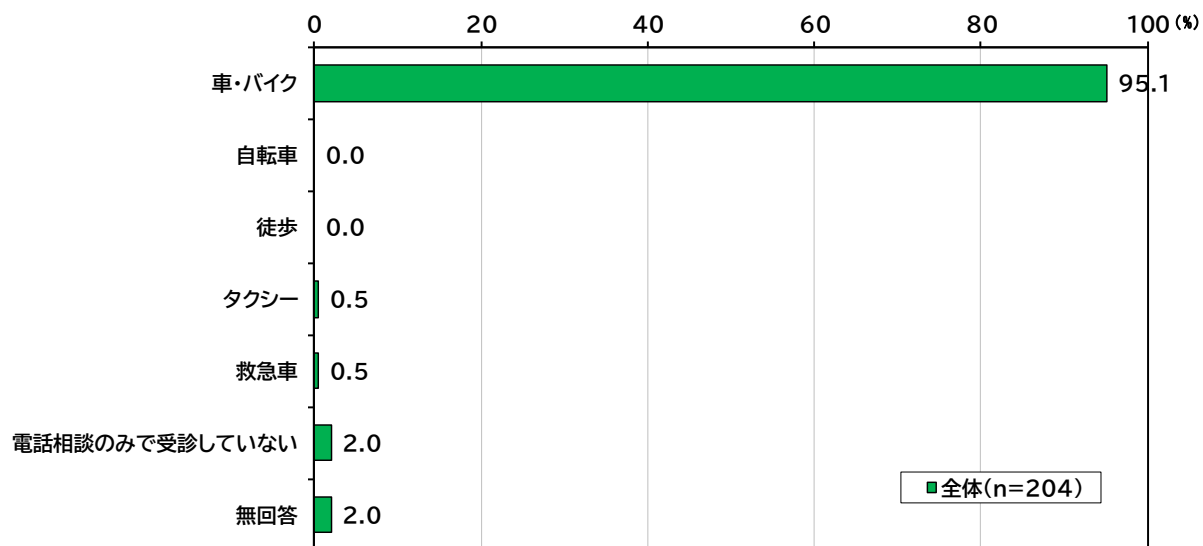
【居住地区別】

大分地区	202 100.0	36 17.8	6 3.0	47 23.3	5 2.5	97 48.0	2 1.0	9 4.5
明野地区	33 100.0	8 24.2	1 3.0	4 12.1	1 3.0	16 48.5	0 0.0	3 9.1
鶴崎地区	64 100.0	7 10.9	4 6.3	19 29.7	1 1.6	29 45.3	1 1.6	3 4.7
植田地区	61 100.0	9 14.8	2 3.3	15 24.6	1 1.6	30 49.2	1 1.6	3 4.9
大南地区	17 100.0	2 11.8	1 5.9	8 47.1	0 0.0	6 35.3	0 0.0	0 0.0
大在地区	36 100.0	8 22.2	2 5.6	8 22.2	0 0.0	16 44.4	0 0.0	2 5.6
坂ノ市地区	19 100.0	4 21.1	1 5.3	4 21.1	0 0.0	6 31.6	1 5.3	3 15.8
佐賀関地区	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3
野津原地区	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの

## 問12 受診した医療機関への交通手段

(問11で「5. 医療機関～」とお答えした方にお聞きます)  
受診した時の交通手段は何ですか。



15歳以下の子どもが夜間に体調が悪くなった時に医療機関にいった交通手段としては、「車・バイク」が95.1%とほとんどです。

### 【属性別特徴】

- 属性別のサンプル数が少ないため、図表に示すのみとします。

(問11で「5. 医療機関～」とお答えした方にお聞きます)  
受診した時の交通手段は何ですか。

【属性別数表】

上段:実数 下段:パーセント	サンプル数	車・バイク	自転車	徒歩	タクシー	救急車	電話相談のみで受診していない	無回答
全体	204 100.0	194 95.1	0 0.0	0 0.0	1 0.5	1 0.5	4 2.0	4 2.0

【年齢別】

20歳代以下	4 100.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
30歳代	44 100.0	44 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
40歳代	78 100.0	73 93.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.3	3 3.8	1 1.3
50歳代	46 100.0	45 97.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.2
60歳代	18 100.0	17 94.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.6
70歳代以上	12 100.0	10 83.3	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	1 8.3

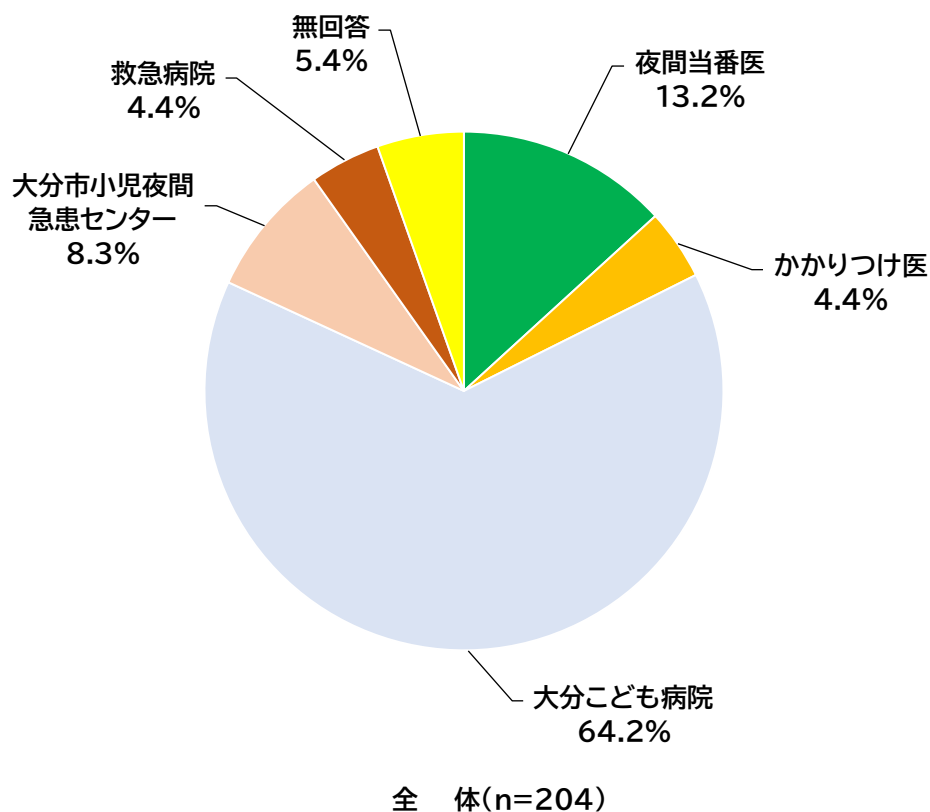
【居住地区別】

大分地区	97 100.0	90 92.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.0	3 3.1	3 3.1
明野地区	16 100.0	15 93.8	0 0.0	0 0.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
鶴崎地区	29 100.0	28 96.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.4	0 0.0
植田地区	30 100.0	29 96.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.3
大南地区	6 100.0	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
大在地区	16 100.0	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
坂ノ市地区	6 100.0	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
佐賀関地区	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
野津原地区	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの

### 問13-1 受診した医療機関の種類

(問11で「5. 医療機関～」とお答えした方にお聞きします)  
どのような医療機関でしたか。



15歳以下の子どもが夜間に体調が悪くなった時に受診した医療機関としては、「大分こども病院」が64.2%と最も多くなっています。次いで「夜間当番医」(13.2%)、「大分市小児夜間急患センター」(8.3%)、「救急病院」と「かかりつけ医」(各4.4%)となっています。

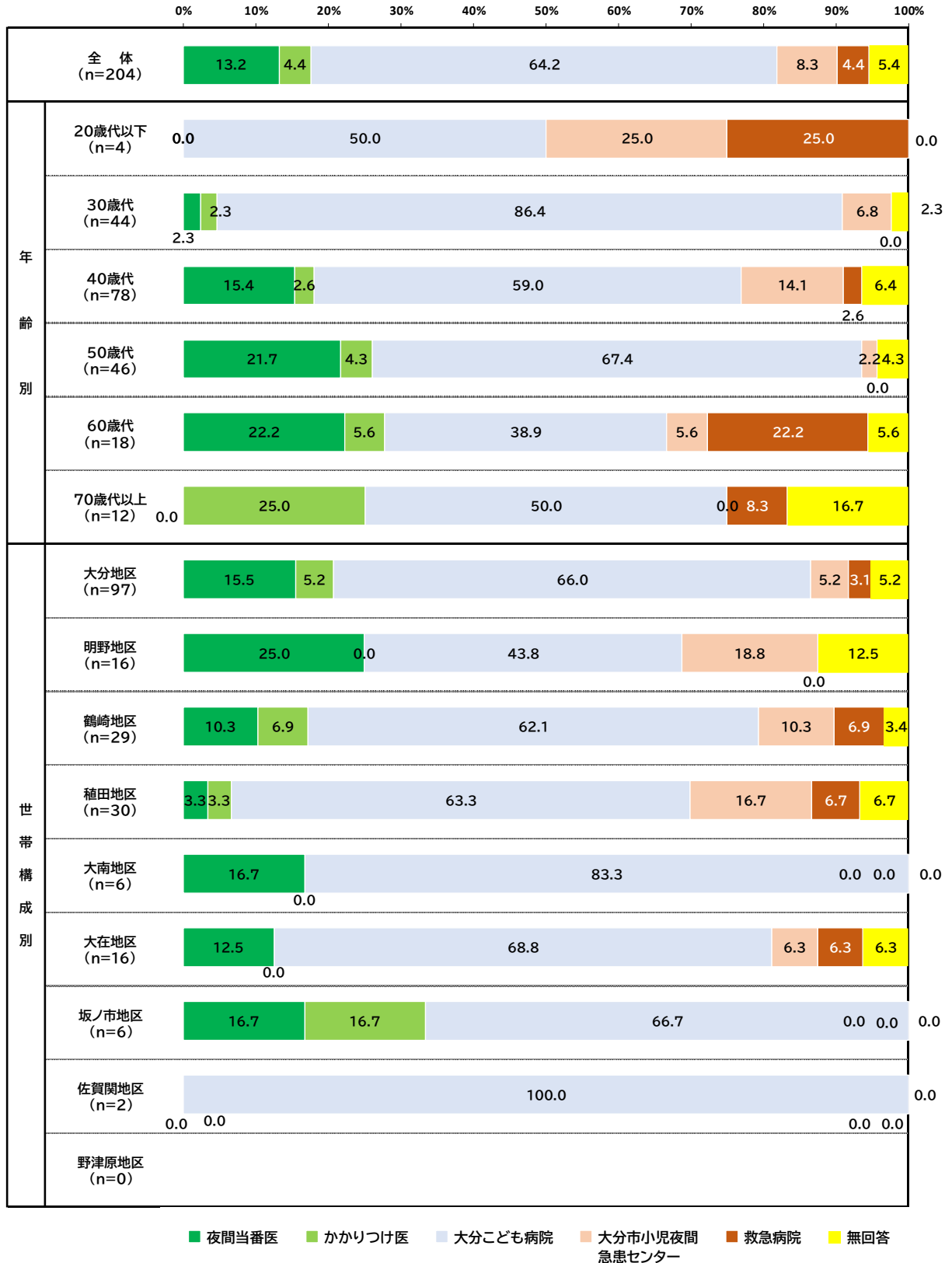
#### 【属性別特徴】

- 属性別のサンプル数が少ないため、図表に示すのみとします。



(問11で「5. 医療機関～」とお答えした方にお聞きします)  
 どのような医療機関でしたか。

【属性別グラフ】



(問11で「5. 医療機関～」とお答えした方にお聞きます)  
 どのような医療機関でしたか。

【属性別数表】

上段:実数 下段:パーセント	サンプル数	夜間 当番医	か かり つけ 医	大 分 こ ども 病 院	大 分 市 小 児 夜 間 急 患 セ ン タ ー	救 急 病 院	無 回 答
全 体	204 100.0	27 13.2	9 4.4	131 64.2	17 8.3	9 4.4	11 5.4

【年齢別】

20歳代以下	4 100.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0
30歳代	44 100.0	1 2.3	1 2.3	38 86.4	3 6.8	0 0.0	1 2.3
40歳代	78 100.0	12 15.4	2 2.6	46 59.0	11 14.1	2 2.6	5 6.4
50歳代	46 100.0	10 21.7	2 4.3	31 67.4	1 2.2	0 0.0	2 4.3
60歳代	18 100.0	4 22.2	1 5.6	7 38.9	1 5.6	4 22.2	1 5.6
70歳代以上	12 100.0	0 0.0	3 25.0	6 50.0	0 0.0	1 8.3	2 16.7

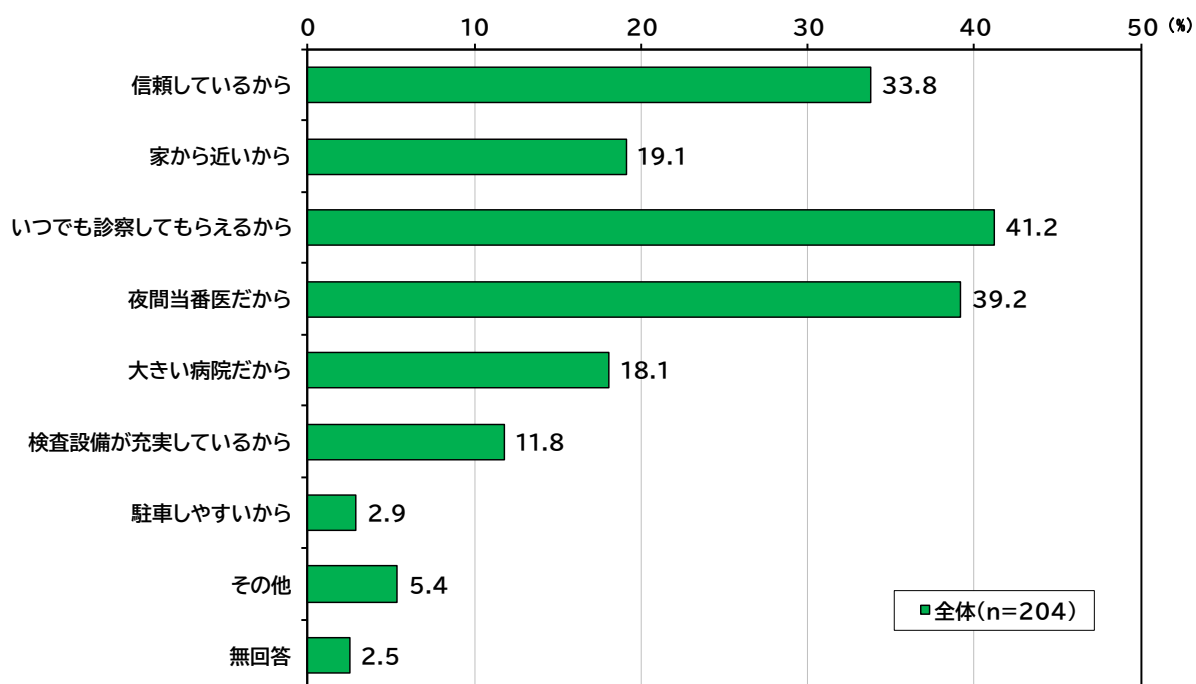
【居住地区別】

大分地区	97 100.0	15 15.5	5 5.2	64 66.0	5 5.2	3 3.1	5 5.2
明野地区	16 100.0	4 25.0	0 0.0	7 43.8	3 18.8	0 0.0	2 12.5
鶴崎地区	29 100.0	3 10.3	2 6.9	18 62.1	3 10.3	2 6.9	1 3.4
穂田地区	30 100.0	1 3.3	1 3.3	19 63.3	5 16.7	2 6.7	2 6.7
大南地区	6 100.0	1 16.7	0 0.0	5 83.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
大在地区	16 100.0	2 12.5	0 0.0	11 68.8	1 6.3	1 6.3	1 6.3
坂ノ市地区	6 100.0	1 16.7	1 16.7	4 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
佐賀関地区	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
野津原地区	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの

### 問13-2 受診した医療機関を選んだ理由

(問11で「5. 医療機関～」とお答えした方にお聞きします)  
その医療機関を選択した理由は何ですか。 ※あてはまるもの全てに○



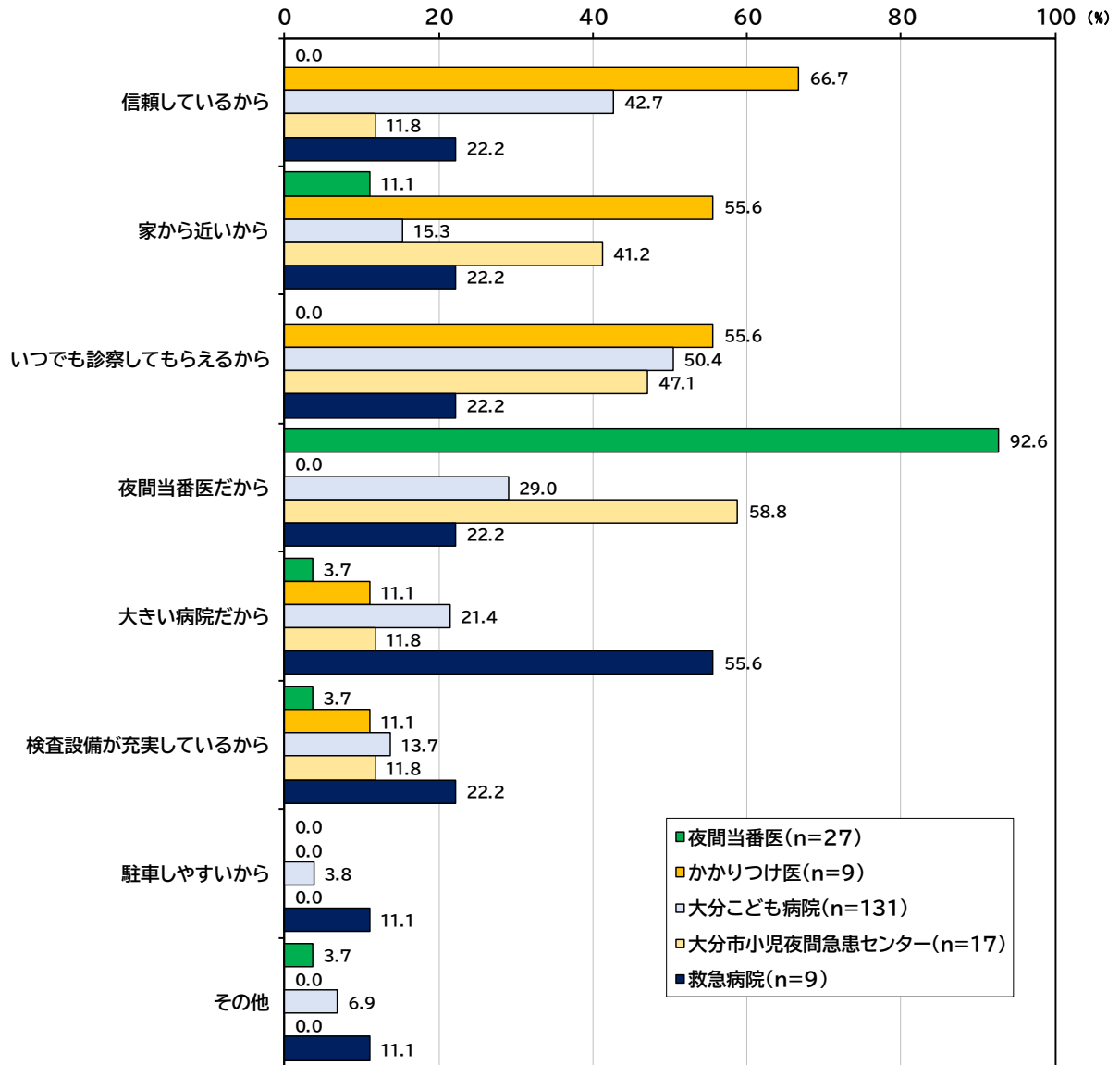
子どもが夜間に体調が悪くなった時に受診した医療機関を選んだ理由としては、「いつでも診察してもらえるから」が41.2%と最も多くなっています。次いで「夜間当番医だから」(39.2%)、「信頼しているから」(33.8%)、「家から近いから」(19.1%)、「大きい病院だから」(18.1%)となっています。

#### 【医療機関別特徴】

- 属性別のサンプル数が少ないため、図表に示すのみとします。

(問11で「5. 医療機関～」とお答えした方にお聞きます)  
 その医療機関を選択した理由は何ですか。 ※あてはまるもの全てに○

【医療機関別グラフ・数表】



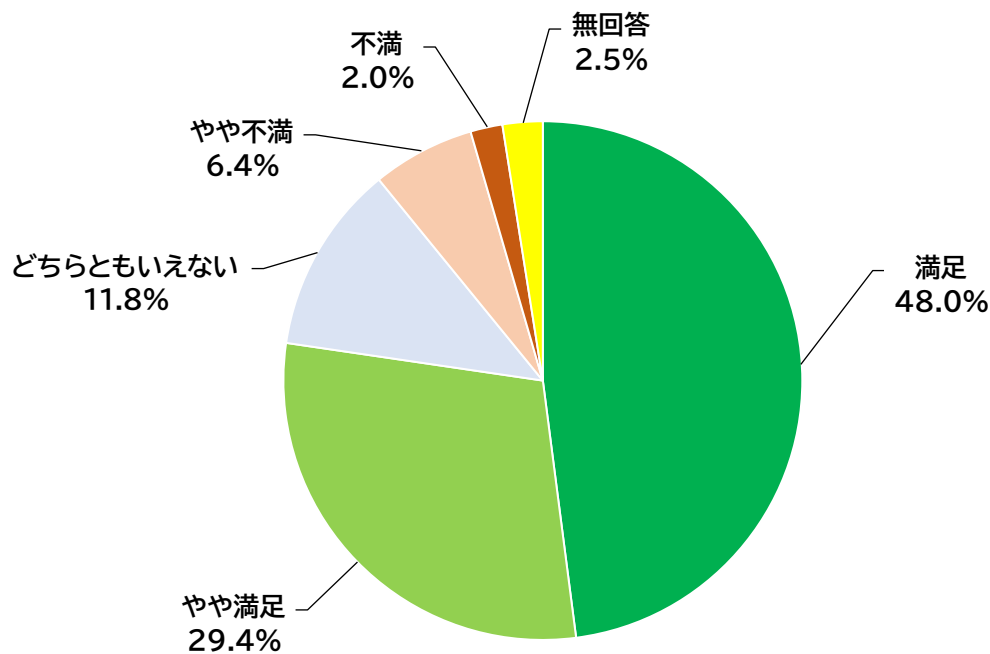
	サンプル数	信頼している	家から近い	いつでも診	夜間当番医	大きい病院	検査設備が	駐車しやすい	その他	無回答
全体	204	69	39	84	80	37	24	6	11	5
	100.0	33.8	19.1	41.2	39.2	18.1	11.8	2.9	5.4	2.5

医療機関別	サンプル数	信頼している	家から近い	いつでも診	夜間当番医	大きい病院	検査設備が	駐車しやすい	その他	無回答
夜間当番医	27	0	3	0	25	1	1	0	1	1
	100.0	0.0	11.1	0.0	92.6	3.7	3.7	0.0	3.7	3.7
かかりつけ医	9	6	5	5	0	1	1	0	0	0
	100.0	66.7	55.6	55.6	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0
大分子ども病院	131	56	20	66	38	28	18	5	9	0
	100.0	42.7	15.3	50.4	29.0	21.4	13.7	3.8	6.9	0.0
大分市小児夜間急患センター	17	2	7	8	10	2	2	0	0	0
	100.0	11.8	41.2	47.1	58.8	11.8	11.8	0.0	0.0	0.0
救急病院	9	2	2	2	2	5	2	1	1	1
	100.0	22.2	22.2	22.2	22.2	55.6	22.2	11.1	11.1	11.1

(注) 太字は、全体よりも5ポイント以上多いもの

### 問13-3 医療機関の満足度

(問11で「5. 医療機関～」とお答えした方にお聞きます)  
受診または電話相談した時の感想を教えてください。



全 体(n=204)

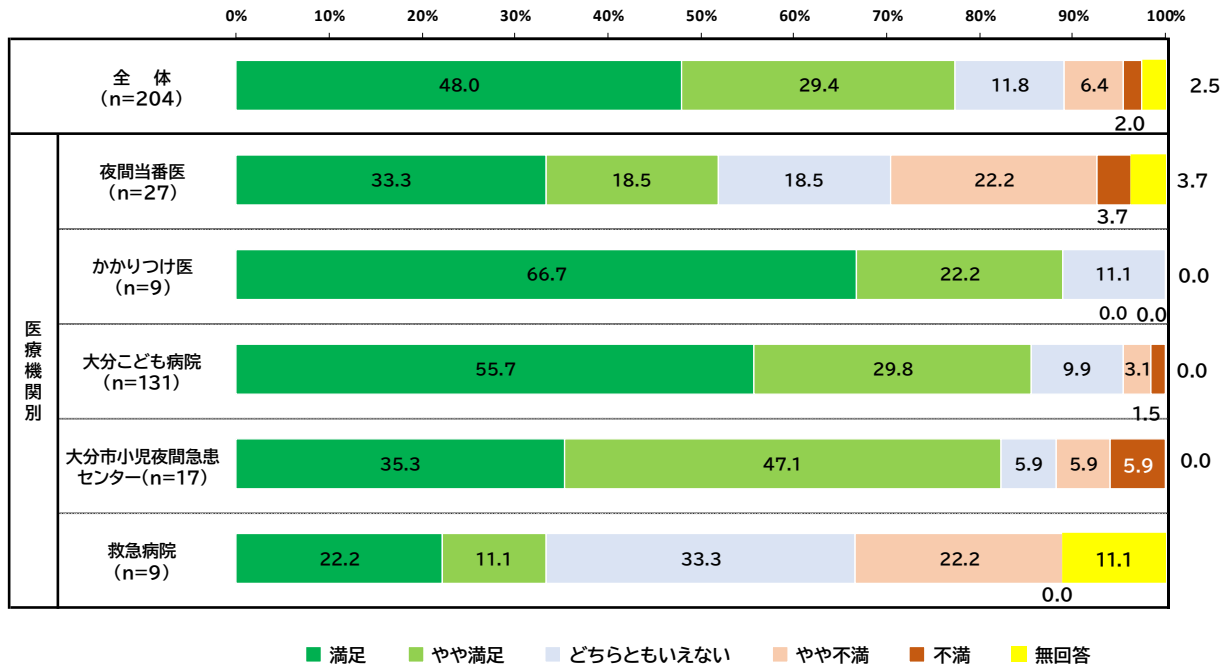
子どもが夜間に体調が悪くなった時に受診した医療機関の感想としては、「満足」が 48.0%、「やや満足」が 29.4%、両者を合計した満足している割合は 77.4%となっています。「やや不満」が 6.4%、「不満」が 2.0%となっており、「どちらともいえない」が 11.8%となっています。

#### 【医療機関別特徴】

- 属性別のサンプル数が少ないため、図表に示すのみとします。

(問11で「5. 医療機関～」とお答えした方にお聞きします)  
 受診または電話相談した時の感想を教えてください。

【医療機関別グラフ・数表】



	サンプル数	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
全体	204	98	60	24	13	4	5
	100.0	48.0	29.4	11.8	6.4	2.0	2.5

【医療機関別】

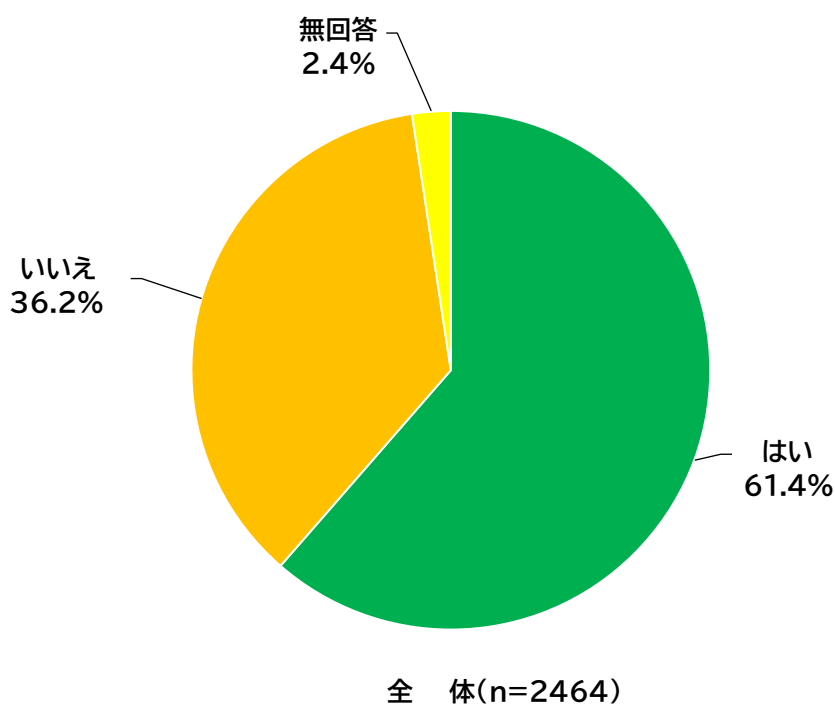
	サンプル数	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
夜間当番医	27	9	5	5	6	1	1
	100.0	33.3	18.5	18.5	22.2	3.7	3.7
かかりつけ医	9	6	2	1	0	0	0
	100.0	66.7	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0
大分子ども病院	131	73	39	13	4	2	0
	100.0	55.7	29.8	9.9	3.1	1.5	0.0
大分市小児夜間急患センター	17	6	8	1	1	1	0
	100.0	35.3	47.1	5.9	5.9	5.9	0.0
救急病院	9	2	1	3	2	0	1
	100.0	22.2	11.1	33.3	22.2	0.0	11.1

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの

### Ⅲ 夜間医療体制について

#### 問14 コンビニ受診について

「日中に用事や仕事がある、夜間の方が待ち時間が短い」などの理由で夜間に受診する、いわゆる「コンビニ受診」が増加すると、緊急性の高い重症患者の治療に支障をきたす場合があることを知っていますか。



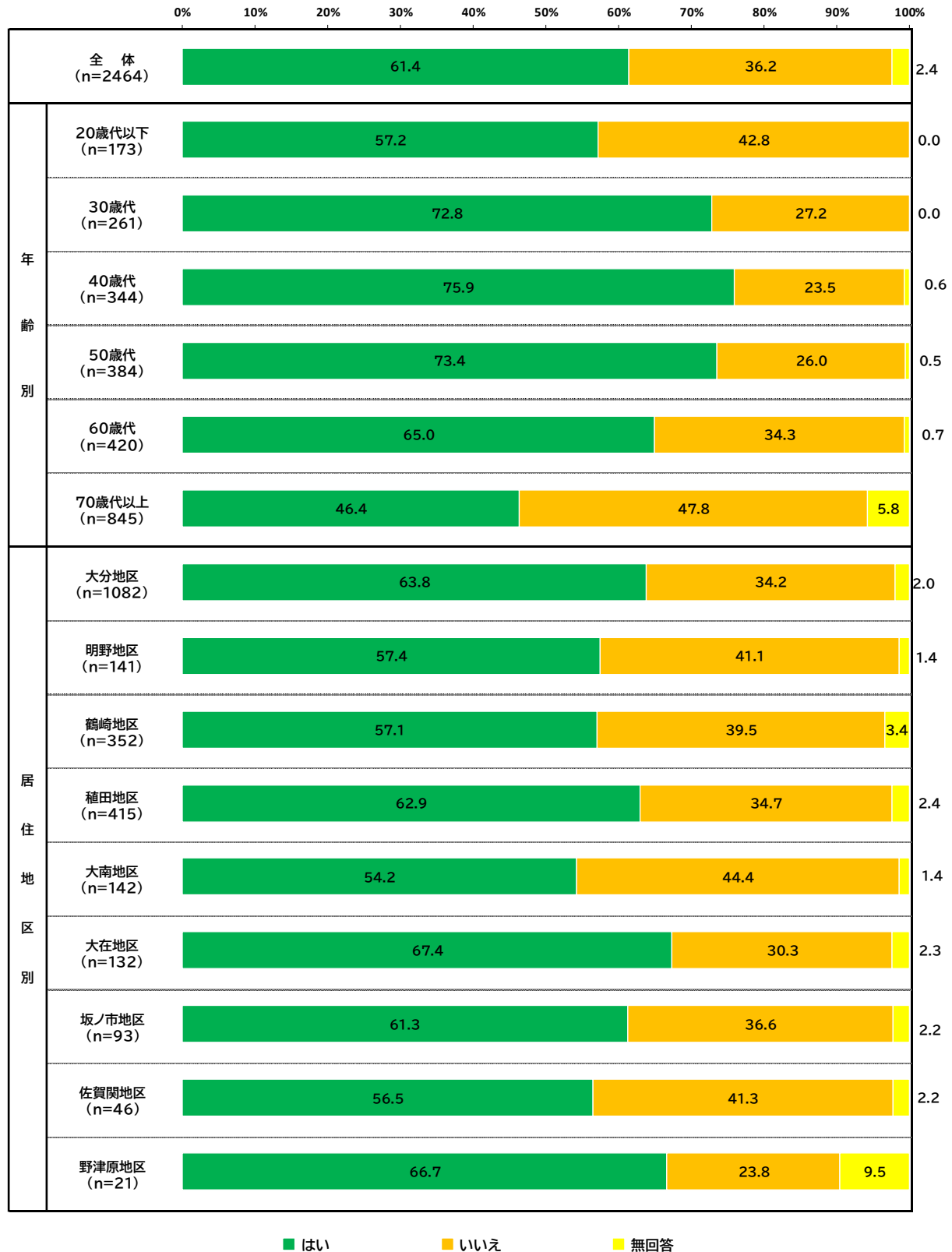
「コンビニ受診」が増加すると、緊急性の高い重症患者の治療に支障をきたす場合があることについては、「はい」が61.4%、「いいえ」が36.2%となっています。

#### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、30～50歳代では「はい」が7割台と多くなっていますが、20歳代以下では57.2%、70歳代以上では46.4%と少なくなっています。
- 居住地区別にみると、大在地区で「はい」が67.4%と最も多く、大南地区の54.2%が最も少なくなっています。

「日中に用事や仕事がある、夜間の方が待ち時間が短い」などの理由で夜間に受診する、いわゆる「コンビニ受診」が増加すると、緊急性の高い重症患者の治療に支障をきたす場合があることを知っていますか。

【属性別グラフ】





「日中に用事や仕事がある、夜間の方が待ち時間が短い」などの理由で夜間に受診する、いわゆる「コンビニ受診」が増加すると、緊急性の高い重症患者の治療に支障をきたす場合があることを知っていますか。

【属性別数表】

	サンプル数	はい	いいえ	無回答
上段:実数 下段:パーセント				
全体	2464 100.0	1513 61.4	891 36.2	60 2.4

【年齢別】

20歳代以下	173 100.0	99 57.2	74 <b>42.8</b>	0 0.0
30歳代	261 100.0	190 <b>72.8</b>	71 27.2	0 0.0
40歳代	344 100.0	261 <b>75.9</b>	81 23.5	2 0.6
50歳代	384 100.0	282 <b>73.4</b>	100 26.0	2 0.5
60歳代	420 100.0	273 65.0	144 34.3	3 0.7
70歳代以上	845 100.0	392 46.4	404 <b>47.8</b>	49 5.8

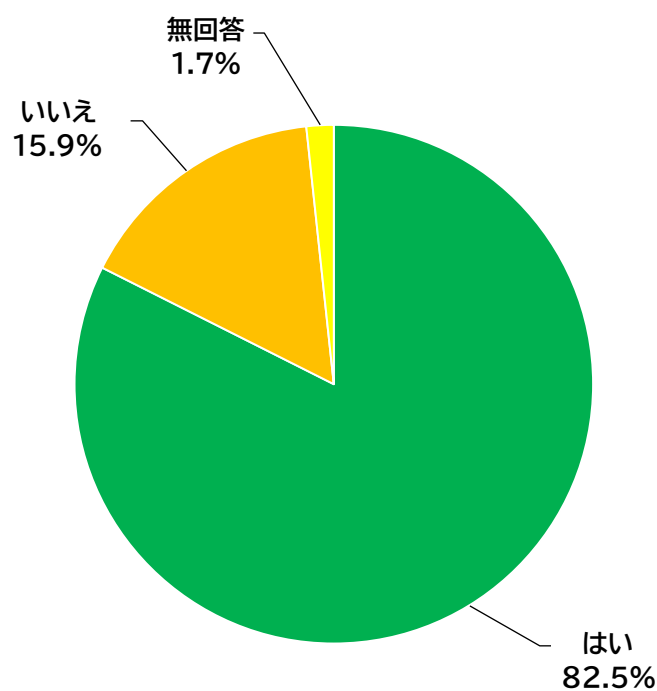
【居住地区別】

大分地区	1082 100.0	690 63.8	370 34.2	22 2.0
明野地区	141 100.0	81 57.4	58 41.1	2 1.4
鶴崎地区	352 100.0	201 57.1	139 39.5	12 3.4
植田地区	415 100.0	261 62.9	144 34.7	10 2.4
大南地区	142 100.0	77 54.2	63 <b>44.4</b>	2 1.4
大在地区	132 100.0	89 <b>67.4</b>	40 30.3	3 2.3
坂ノ市地区	93 100.0	57 61.3	34 36.6	2 2.2
佐賀関地区	46 100.0	26 56.5	19 <b>41.3</b>	1 2.2
野津原地区	21 100.0	14 <b>66.7</b>	5 23.8	2 9.5

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの

## 問15 夜間における専門外の診療

夜間において専門外の診療が困難な場合があることを知っていますか。



全 体(n=2464)

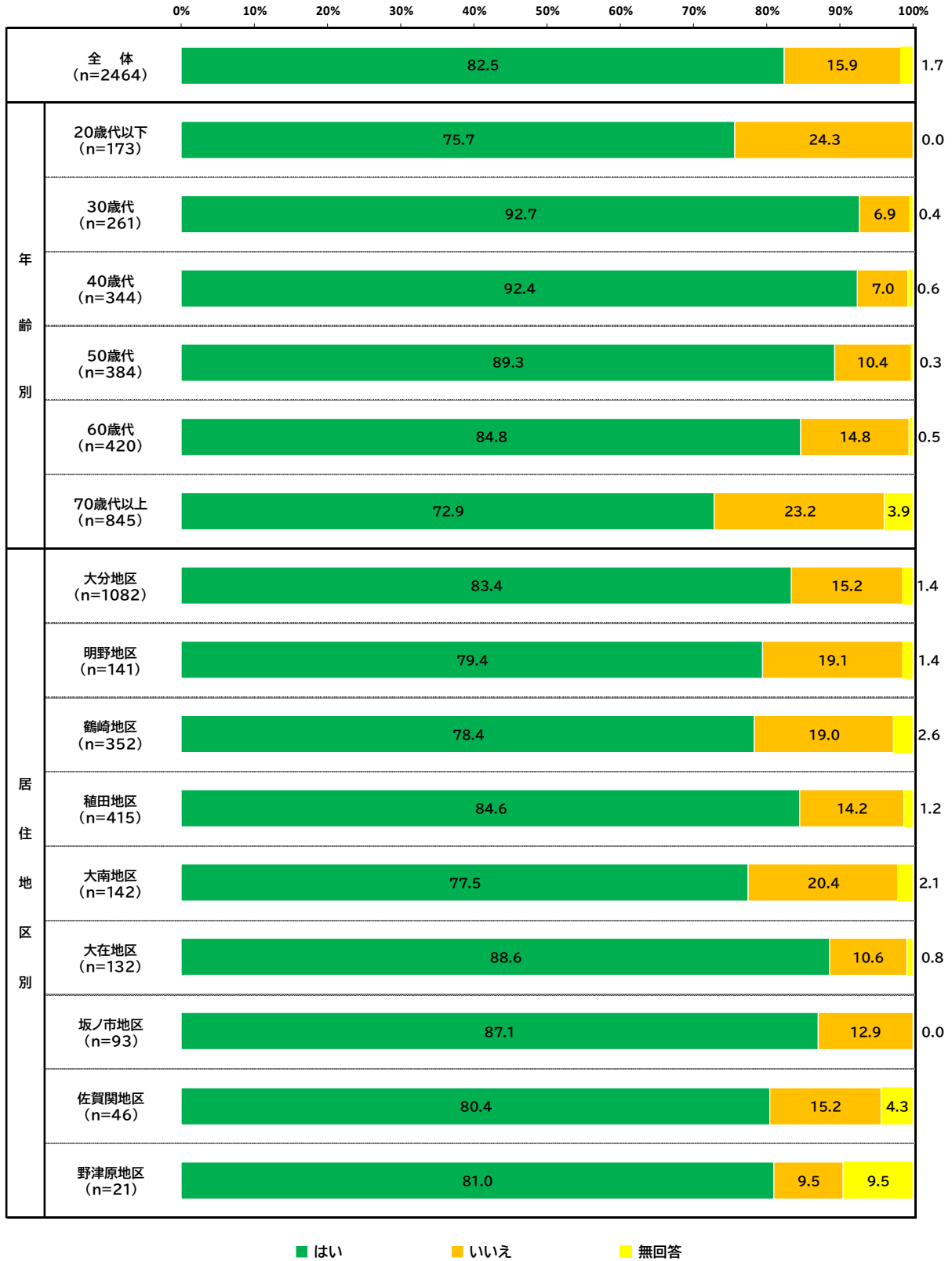
夜間において専門外の診療が困難な場合があることについては、「はい」が 82.5%、「いいえ」が 15.9%となっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、30～60 歳代では「はい」が8～9割台と多くなっていますが、20 歳代以下では 75.7%、70 歳代以上では 72.9%と少なくなっています。
- 居住地区別にみると、大在地区で「はい」が 88.6%と最も多く、大南地区の 77.5%が最も少なくなっています。

夜間において専門外の診療が困難な場合があることを知っていますか。

【属性別グラフ】



夜間において専門外の診療が困難な場合があることを知っていますか。

【属性別数表】

	サンプル数	はい	いいえ	無回答
上段:実数 下段:パーセント				
全体	2464 100.0	2032 82.5	391 15.9	41 1.7

【年齢別】

20歳代以下	173 100.0	131 75.7	42 <b>24.3</b>	0 0.0
30歳代	261 100.0	242 <b>92.7</b>	18 6.9	1 0.4
40歳代	344 100.0	318 <b>92.4</b>	24 7.0	2 0.6
50歳代	384 100.0	343 <b>89.3</b>	40 10.4	1 0.3
60歳代	420 100.0	356 84.8	62 14.8	2 0.5
70歳代以上	845 100.0	616 72.9	196 <b>23.2</b>	33 3.9

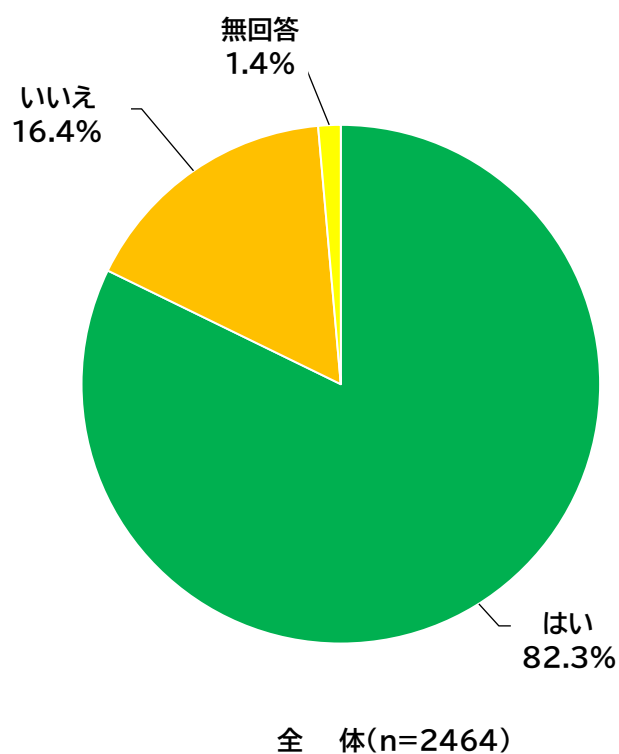
【居住地区別】

大分地区	1082 100.0	902 83.4	165 15.2	15 1.4
明野地区	141 100.0	112 79.4	27 19.1	2 1.4
鶴崎地区	352 100.0	276 78.4	67 19.0	9 2.6
穂田地区	415 100.0	351 84.6	59 14.2	5 1.2
大南地区	142 100.0	110 77.5	29 20.4	3 2.1
大在地区	132 100.0	117 <b>88.6</b>	14 10.6	1 0.8
坂ノ市地区	93 100.0	81 87.1	12 12.9	0 0.0
佐賀関地区	46 100.0	37 80.4	7 15.2	2 4.3
野津原地区	21 100.0	17 81.0	2 9.5	2 9.5

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの

## 問16 夜間の加算費用について

夜間は通常の診療費用と別に加算費用が掛かることを知っていますか。



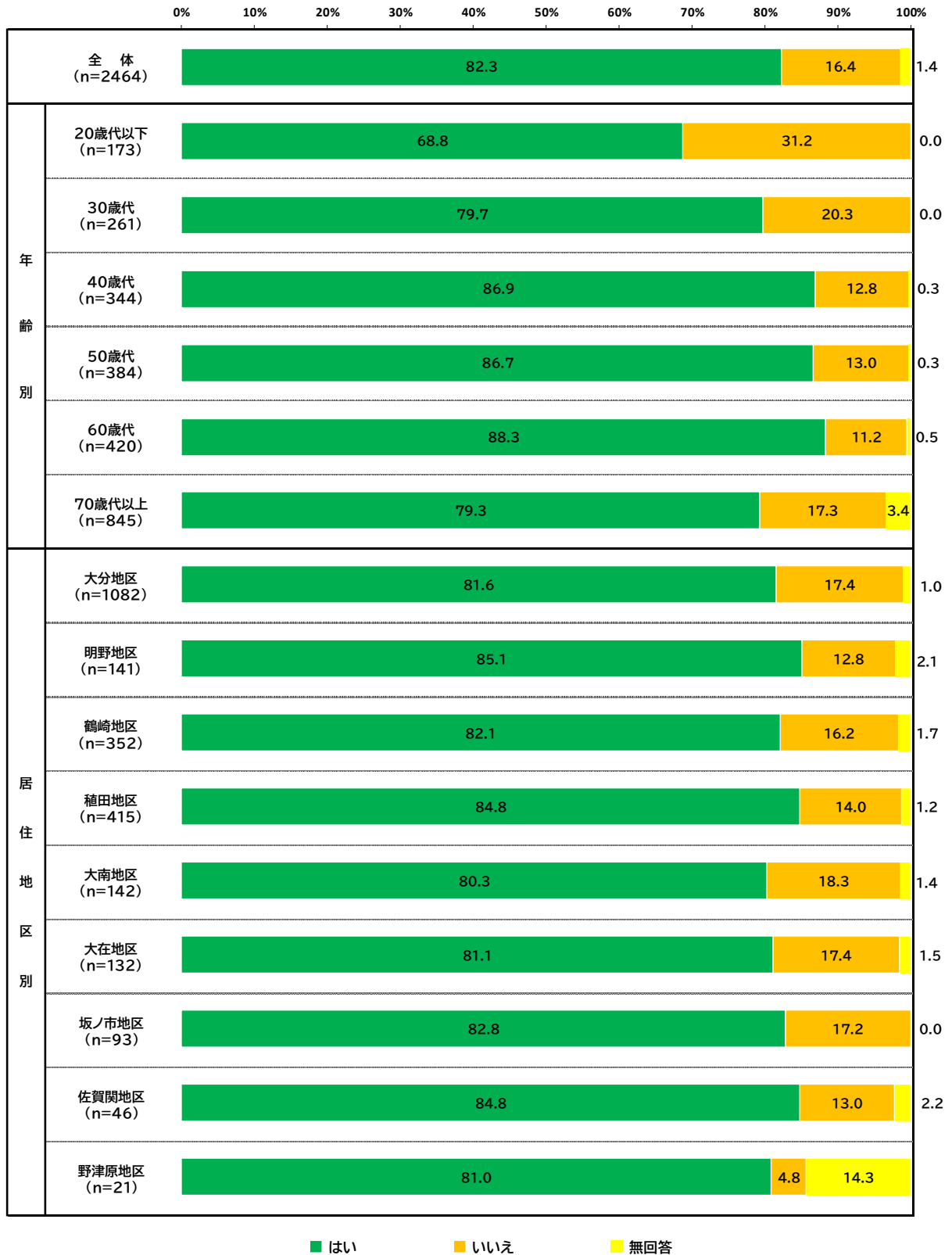
夜間は通常の診療費用と別に加算費用が掛かることについては、「はい」が 82.3%、「いいえ」が 16.4%となっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、20歳代以下で、「はい」が 68.8%と少なくなっています。
- 居住地区別にみると、大きな差はみられません。

夜間は通常の診療費用と別に加算費用が掛かることを知っていますか。

【属性別グラフ】



夜間は通常の診療費用と別に加算費用が掛かることを知っていますか。

【属性別数表】

	サンプル数	はい	いいえ	無回答
上段:実数 下段:パーセント				
全体	2464 100.0	2027 82.3	403 16.4	34 1.4

【年齢別】

20歳代以下	173 100.0	119 68.8	54 31.2	0 0.0
30歳代	261 100.0	208 79.7	53 20.3	0 0.0
40歳代	344 100.0	299 86.9	44 12.8	1 0.3
50歳代	384 100.0	333 86.7	50 13.0	1 0.3
60歳代	420 100.0	371 88.3	47 11.2	2 0.5
70歳代以上	845 100.0	670 79.3	146 17.3	29 3.4

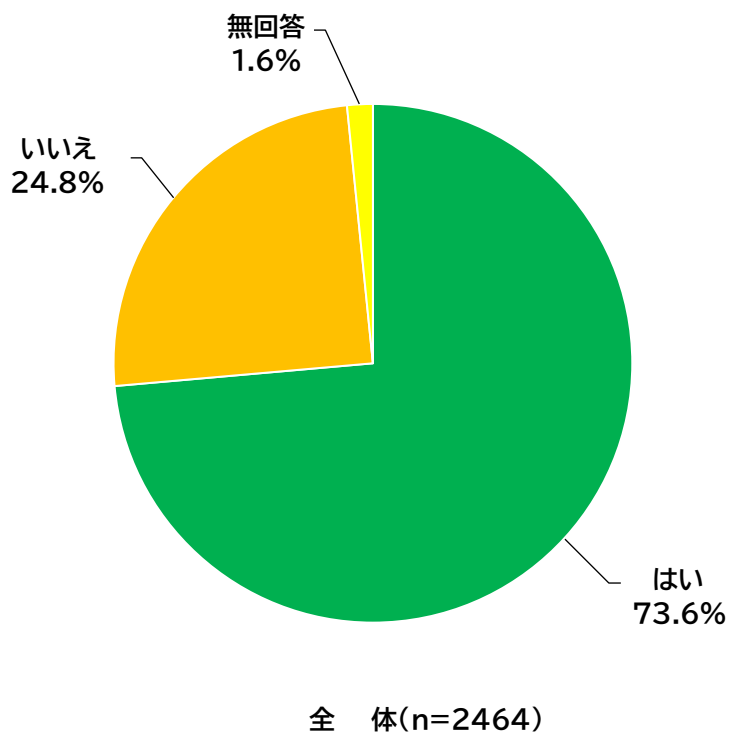
【居住地区別】

大分地区	1082 100.0	883 81.6	188 17.4	11 1.0
明野地区	141 100.0	120 85.1	18 12.8	3 2.1
鶴崎地区	352 100.0	289 82.1	57 16.2	6 1.7
穂田地区	415 100.0	352 84.8	58 14.0	5 1.2
大南地区	142 100.0	114 80.3	26 18.3	2 1.4
大在地区	132 100.0	107 81.1	23 17.4	2 1.5
坂ノ市地区	93 100.0	77 82.8	16 17.2	0 0.0
佐賀関地区	46 100.0	39 84.8	6 13.0	1 2.2
野津原地区	21 100.0	17 81.0	1 4.8	3 14.3

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの

## 問17 夜間当番医制について

本市では、夜間（17時から22時）の比較的軽症な救急患者を受け入れるため、地域の様々な診療科の病院や診療所が当番制で診療を行う、「夜間当番医制」を実施していることを知っていますか。



「夜間当番医制」を実施していることについては、「はい」が73.6%、「いいえ」が24.8%となっています。

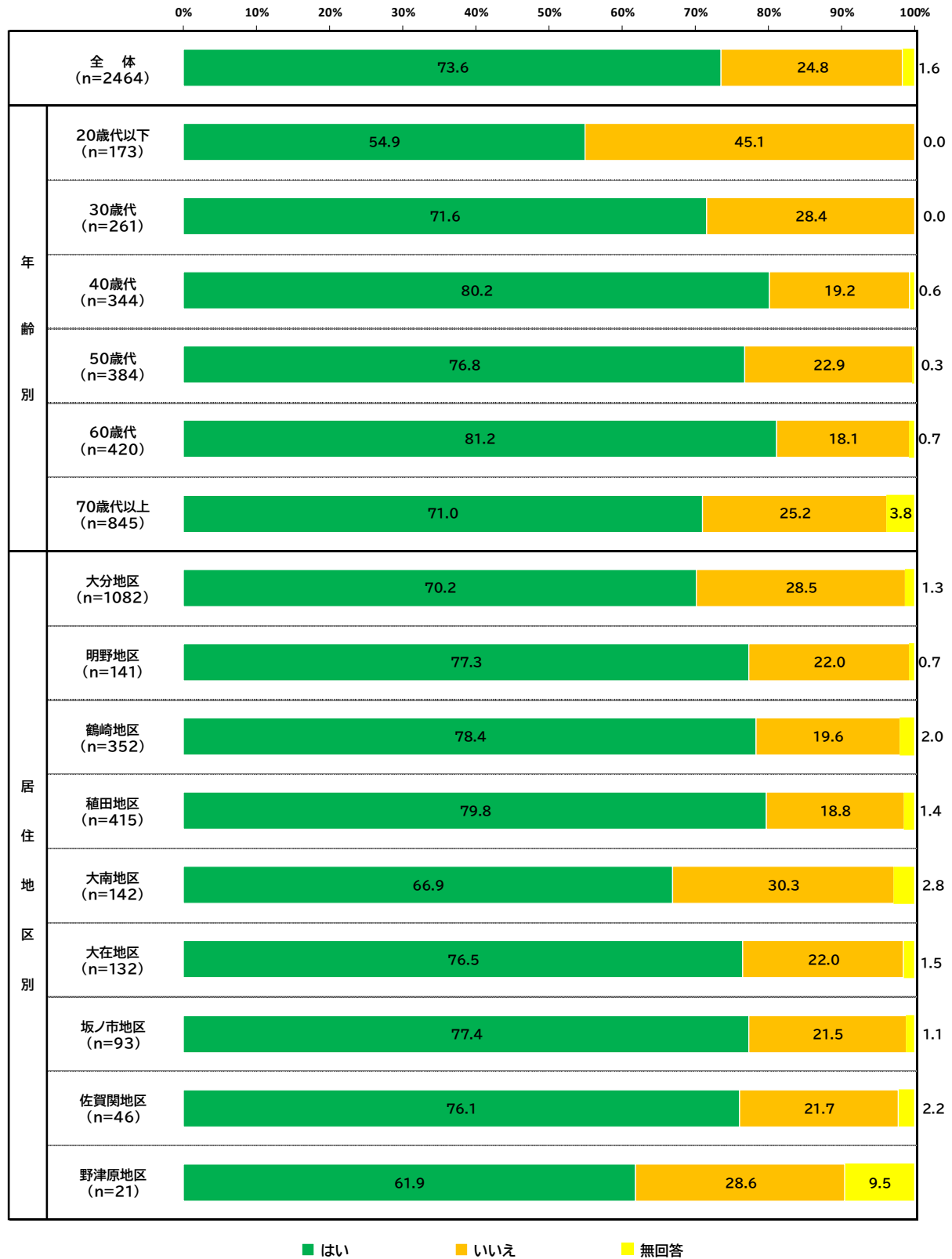
### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、20歳代以下で、「はい」が54.9%と少なくなっています。
- 居住地区別にみると、大南地区、野津原地区で「はい」が6割台と少なくなっています。



本市では、夜間（17時から22時）の比較的軽症な救急患者を受け入れるため、地域の様々な診療科の病院や診療所が当番制で診療を行う、「夜間当番医制」を実施していることを知っていますか。

【属性別グラフ】



本市では、夜間（17時から22時）の比較的軽症な救急患者を受け入れるため、地域の様々な診療科の病院や診療所が当番制で診療を行う、「夜間当番医制」を実施していることを知っていますか。

【属性別数表】

	サンプル数	はい	いいえ	無回答
上段:実数 下段:パーセント				
全体	2464 100.0	1814 73.6	610 24.8	40 1.6

【年齢別】

20歳代以下	173 100.0	95 54.9	78 <b>45.1</b>	0 0.0
30歳代	261 100.0	187 71.6	74 28.4	0 0.0
40歳代	344 100.0	276 <b>80.2</b>	66 19.2	2 0.6
50歳代	384 100.0	295 76.8	88 22.9	1 0.3
60歳代	420 100.0	341 <b>81.2</b>	76 18.1	3 0.7
70歳代以上	845 100.0	600 71.0	213 25.2	32 3.8

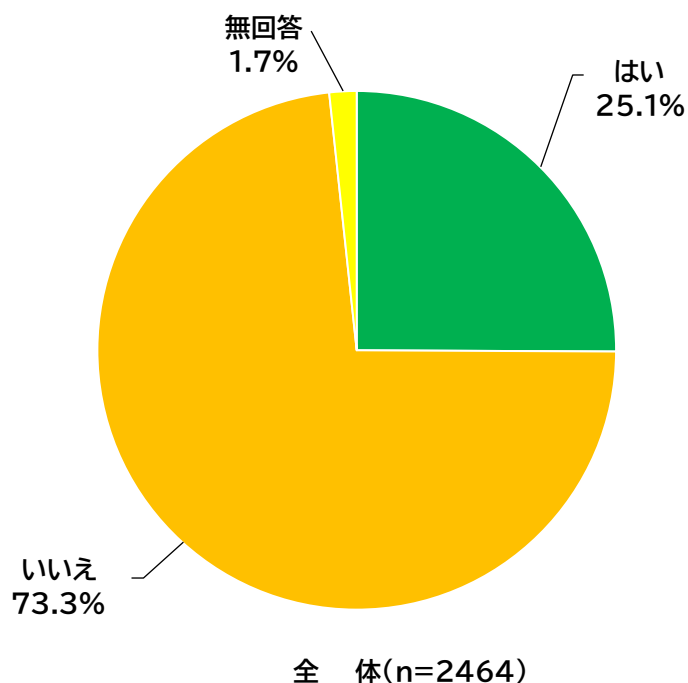
【居住地区別】

大分地区	1082 100.0	760 70.2	308 28.5	14 1.3
明野地区	141 100.0	109 77.3	31 22.0	1 0.7
鶴崎地区	352 100.0	276 78.4	69 19.6	7 2.0
植田地区	415 100.0	331 <b>79.8</b>	78 18.8	6 1.4
大南地区	142 100.0	95 66.9	43 <b>30.3</b>	4 2.8
大在地区	132 100.0	101 76.5	29 22.0	2 1.5
坂ノ市地区	93 100.0	72 77.4	20 21.5	1 1.1
佐賀関地区	46 100.0	35 76.1	10 21.7	1 2.2
野津原地区	21 100.0	13 61.9	6 28.6	2 9.5

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの

## 問18 夜間急患センターについて

他都市では、夜間に比較的軽症な救急患者を受け入れるために、医師等の医療資源を集約し、日によって医療機関が変わることなく、地域の拠点施設となる「夜間急患センター」で、内科や外科などの診療を行っていることを知っていますか。



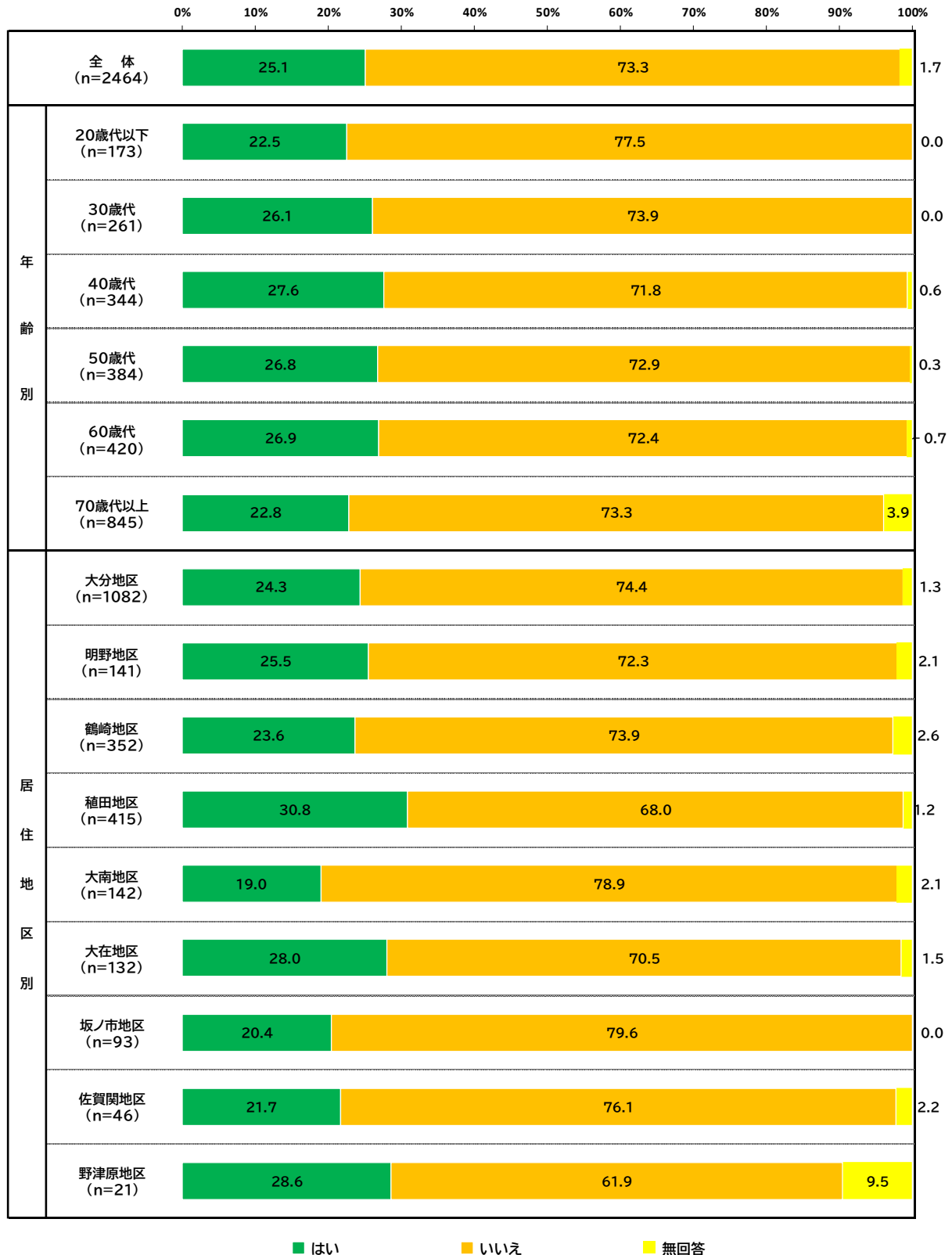
「夜間急患センター」で、内科や外科などの診療を行っていることについては、「はい」が 25.1%、「いいえ」が 73.3%となっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、大きな差はみられません。
- 居住地区別にみると、植田地区で「はい」が 30.8%と最も多く、大南地区で 19.0%と最も少なくなっています。

他都市では、夜間に比較的軽症な救急患者を受け入れるために、医師等の医療資源を集約し、日によって医療機関が変わることなく、地域の拠点施設となる「夜間急患センター」で、内科や外科などの診療を行っていることを知っていますか。

【属性別グラフ】



他都市では、夜間に比較的軽症な救急患者を受け入れるために、医師等の医療資源を集約し、日によって医療機関が変わることなく、地域の拠点施設となる「夜間急患センター」で、内科や外科などの診療を行っていることを知っていますか。

【属性別数表】

	サンプル数	はい	いいえ	無回答
上段:実数 下段:パーセント				
全体	2464 100.0	618 25.1	1805 73.3	41 1.7

【年齢別】

20歳代以下	173 100.0	39 22.5	134 77.5	0 0.0
30歳代	261 100.0	68 26.1	193 73.9	0 0.0
40歳代	344 100.0	95 27.6	247 71.8	2 0.6
50歳代	384 100.0	103 26.8	280 72.9	1 0.3
60歳代	420 100.0	113 26.9	304 72.4	3 0.7
70歳代以上	845 100.0	193 22.8	619 73.3	33 3.9

【居住地区別】

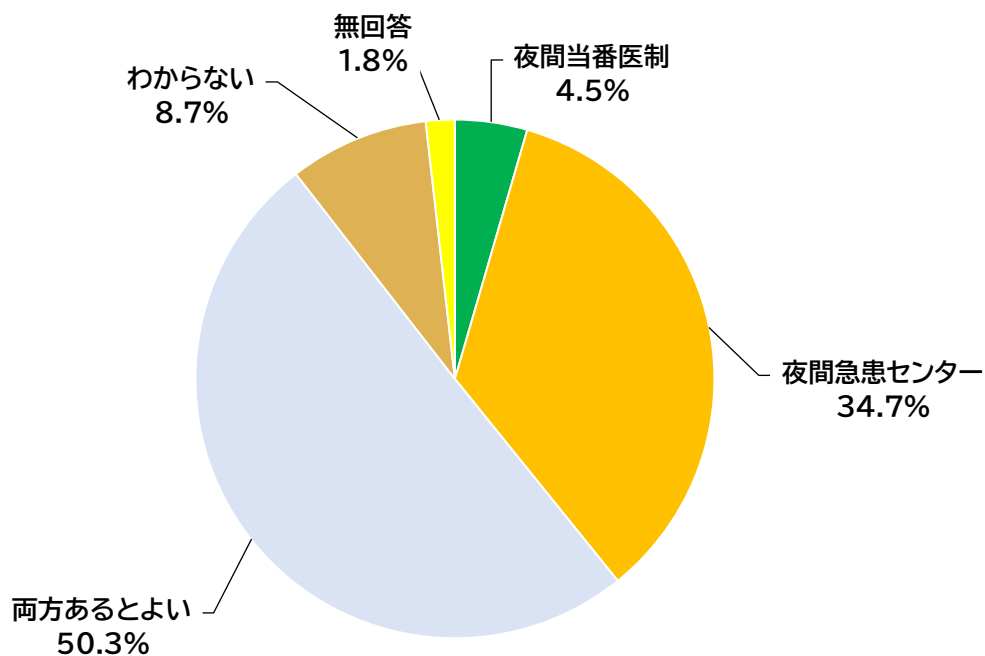
大分地区	1082 100.0	263 24.3	805 74.4	14 1.3
明野地区	141 100.0	36 25.5	102 72.3	3 2.1
鶴崎地区	352 100.0	83 23.6	260 73.9	9 2.6
植田地区	415 100.0	128 <b>30.8</b>	282 68.0	5 1.2
大南地区	142 100.0	27 19.0	112 <b>78.9</b>	3 2.1
大在地区	132 100.0	37 28.0	93 70.5	2 1.5
坂ノ市地区	93 100.0	19 20.4	74 <b>79.6</b>	0 0.0
佐賀関地区	46 100.0	10 21.7	35 76.1	1 2.2
野津原地区	21 100.0	6 28.6	13 61.9	2 9.5

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの

#### IV 今後の夜間医療体制について

##### 問19 望ましい夜間医療体制

「夜間当番医制」と「夜間急患センター」のどちらが望ましいと思いますか。



全 体(n=2464)

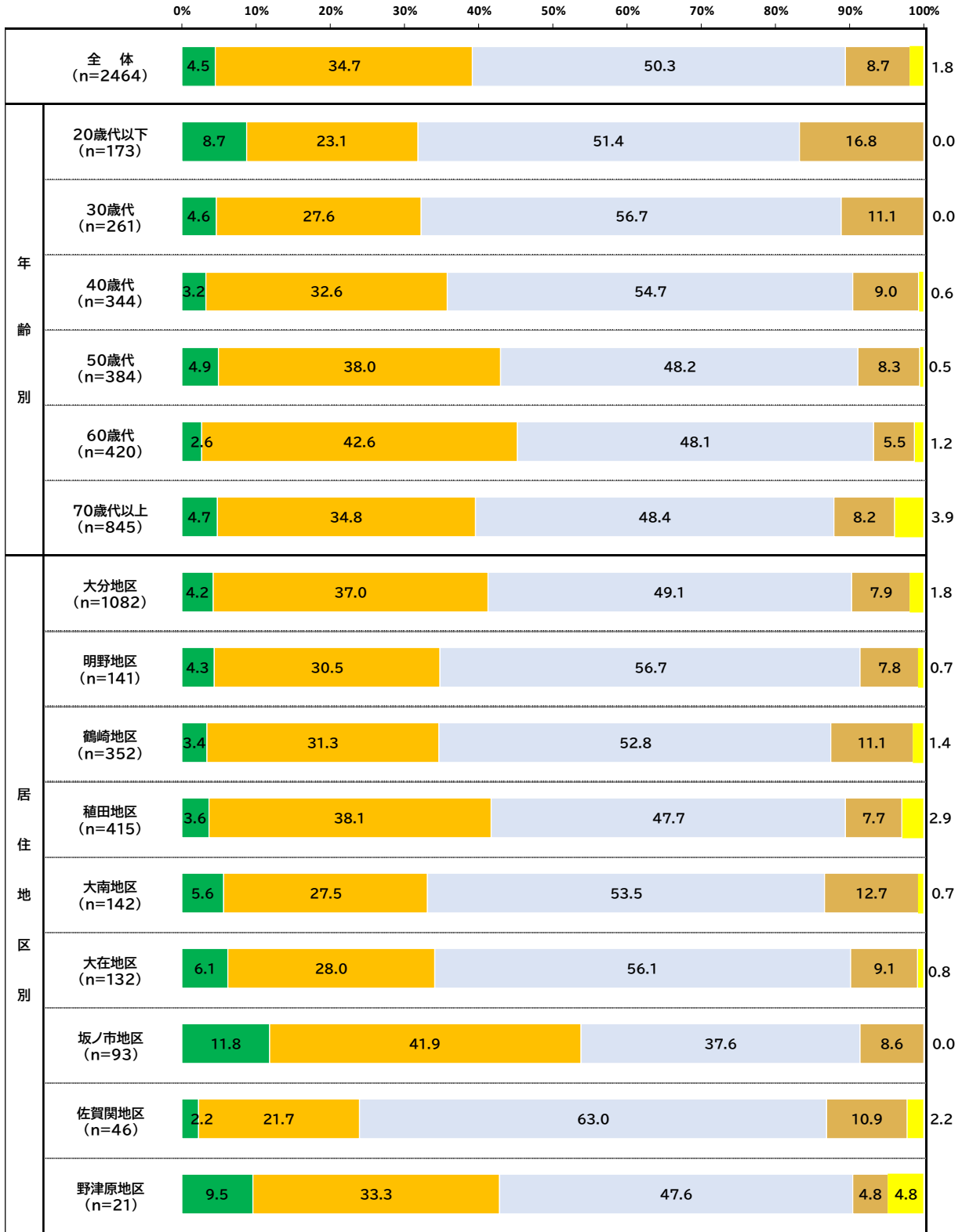
「夜間当番医制」と「夜間急患センター」のどちらが望ましいのかとしては、「夜間急患センター」が34.7%、「夜間当番医制」が4.5%となっていますが、「両方あるとよい」が50.3%と多くなっています。

##### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、いずれの年齢層も「両方あるとよい」が最も多くなっていますが、60歳代では「夜間救急センター」も42.6%と多くなっています。
- 居住地区別にみると、坂ノ市地区では「夜間急患センター」が41.9%と最も多くなっていますが、その他の地区は「両方あるとよい」が最も多くなっています。

「夜間当番医制」と「夜間急患センター」のどちらが望ましいと思いますか。

【属性別グラフ】



■ 夜間当番医制 ■ 夜間急患センター ■ 両方あるとよい ■ わからない ■ 無回答

「夜間当番医制」と「夜間急患センター」のどちらが望ましいと思いますか。

【属性別数表】

上段:実数 下段:パーセント	サンプル数	夜間当番医制	夜間急患センター	両方あるとよい	わからない	無回答
全体	2464 100.0	111 4.5	854 34.7	1239 50.3	215 8.7	45 1.8

【年齢別】

20歳以下	173 100.0	15 8.7	40 23.1	89 51.4	29 <b>16.8</b>	0 0.0
30歳代	261 100.0	12 4.6	72 27.6	148 <b>56.7</b>	29 11.1	0 0.0
40歳代	344 100.0	11 3.2	112 32.6	188 54.7	31 9.0	2 0.6
50歳代	384 100.0	19 4.9	146 38.0	185 48.2	32 8.3	2 0.5
60歳代	420 100.0	11 2.6	179 <b>42.6</b>	202 48.1	23 5.5	5 1.2
70歳代以上	845 100.0	40 4.7	294 34.8	409 48.4	69 8.2	33 3.9

【居住地区別】

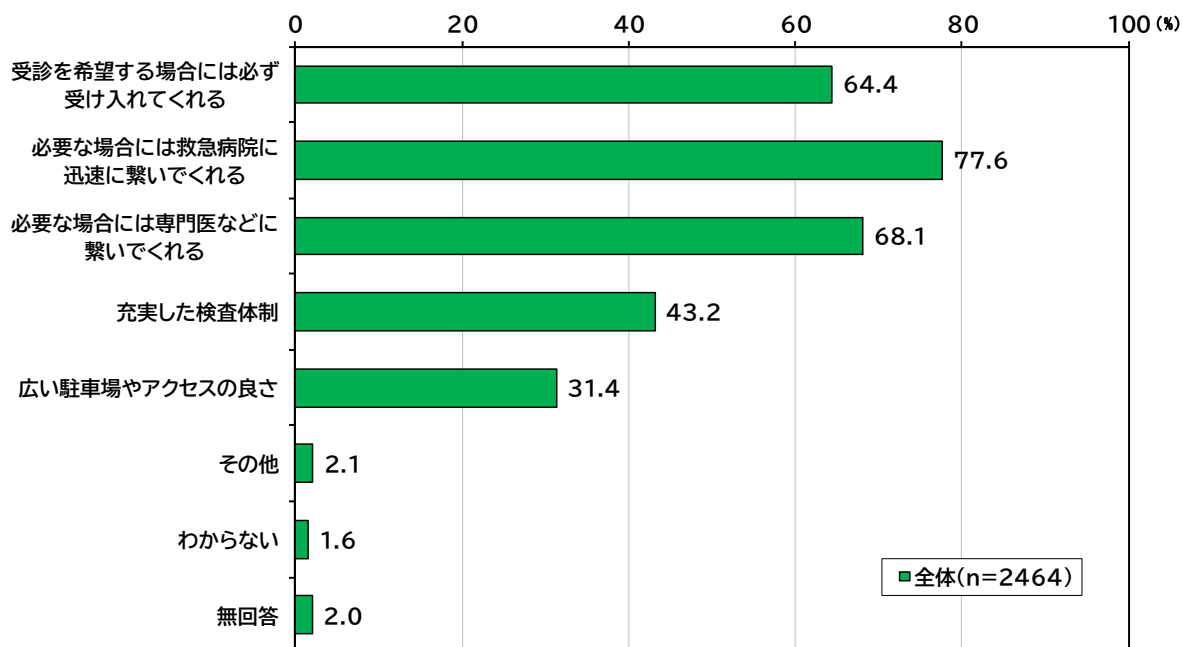
大分地区	1082 100.0	45 4.2	400 37.0	531 49.1	86 7.9	20 1.8
明野地区	141 100.0	6 4.3	43 30.5	80 <b>56.7</b>	11 7.8	1 0.7
鶴崎地区	352 100.0	12 3.4	110 31.3	186 52.8	39 11.1	5 1.4
穂田地区	415 100.0	15 3.6	158 38.1	198 47.7	32 7.7	12 2.9
大南地区	142 100.0	8 5.6	39 27.5	76 53.5	18 12.7	1 0.7
大在地区	132 100.0	8 6.1	37 28.0	74 <b>56.1</b>	12 9.1	1 0.8
坂ノ市地区	93 100.0	11 <b>11.8</b>	39 <b>41.9</b>	35 37.6	8 8.6	0 0.0
佐賀関地区	46 100.0	1 2.2	10 21.7	29 <b>63.0</b>	5 10.9	1 2.2
野津原地区	21 100.0	2 <b>9.5</b>	7 33.3	10 47.6	1 4.8	1 4.8

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの



## 問20 夜間急患センターに望むこと

「夜間急患センター」を設置する場合にどのようなことを望みますか。  
※あてはまるもの全てに○



「夜間急患センター」を設置する場合に望むこととしては、「必要な場合には救急病院に迅速に繋いでくれる」が 77.6%と最も多くなっています。次いで「必要な場合には専門医などに繋いでくれる」(68.1%)、「受診を希望する場合には必ず受け入れてくれる」(64.4%)、「充実した検査体制」(43.2%)、「広い駐車場やアクセスの良さ」(31.4%)となっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、各年齢層とも「必要な場合には救急病院に迅速に繋いでくれる」が最も多く、次いで「必要な場合には専門医などに繋いでくれる」となっていますが、特に30～60歳代で多くなっています。
- 居住地区別にみると、坂ノ市地区、佐賀関地区では上位の3つに加えて、「充実した検査体制」も5割台と多くなっています。

「夜間急患センター」を設置する場合にどのようなことを望みますか。

※あてはまるもの全てに○

【属性別数表】

上段:実数 下段:パーセント	サンプル数	必ず受診を受け入れてくれる場合には	に必要な場合には救急病院に迅速に繋いでくれる	必要な場合には専門医などに繋いでくれる	充実した検査体制	広い駐車場やアクセスの良さ	その他	わからない	無回答
全体	2464 100.0	1586 64.4	1913 77.6	1678 68.1	1065 43.2	774 31.4	51 2.1	39 1.6	50 2.0

【年齢別】

20歳代以下	173 100.0	96 55.5	139 80.3	116 67.1	67 38.7	56 32.4	5 2.9	8 4.6	0 0.0
30歳代	261 100.0	157 60.2	212 81.2	195 <b>74.7</b>	104 39.8	99 <b>37.9</b>	13 5.0	4 1.5	0 0.0
40歳代	344 100.0	200 58.1	281 81.7	250 72.7	150 43.6	121 35.2	6 1.7	4 1.2	2 0.6
50歳代	384 100.0	241 62.8	312 81.3	284 <b>74.0</b>	171 44.5	140 <b>36.5</b>	12 3.1	5 1.3	3 0.8
60歳代	420 100.0	291 69.3	352 <b>83.8</b>	318 <b>75.7</b>	194 46.2	134 31.9	7 1.7	2 0.5	4 1.0
70歳代以上	845 100.0	571 67.6	589 69.7	491 58.1	363 43.0	213 25.2	7 0.8	16 1.9	38 4.5

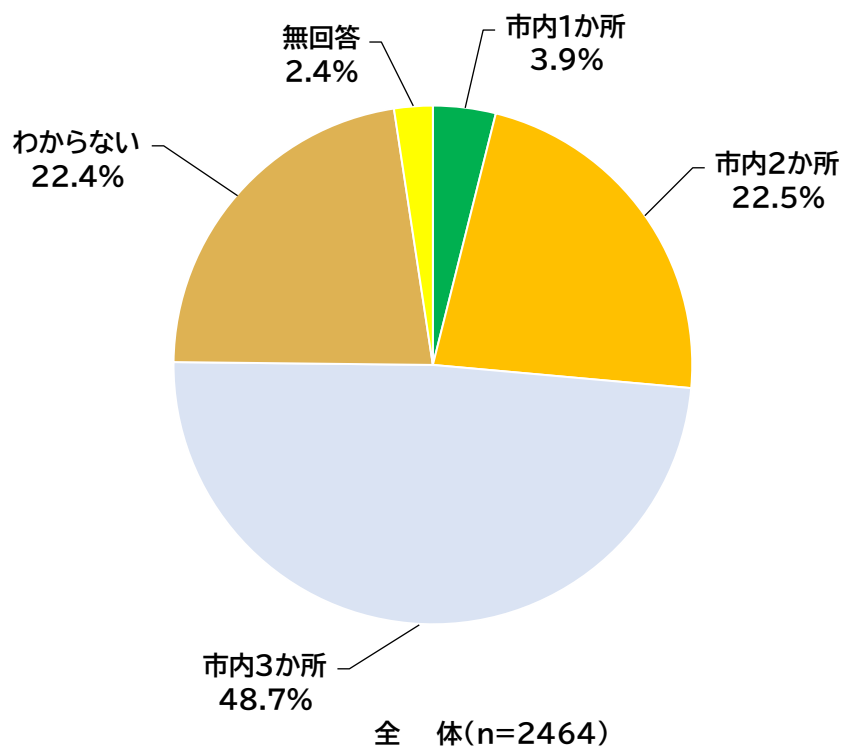
【居住地区別】

大分地区	1082 100.0	694 64.1	844 78.0	727 67.2	456 42.1	338 31.2	29 2.7	14 1.3	15 1.4
明野地区	141 100.0	96 68.1	116 82.3	103 73.0	63 44.7	50 35.5	3 2.1	2 1.4	2 1.4
鶴崎地区	352 100.0	221 62.8	274 77.8	248 70.5	148 42.0	114 32.4	5 1.4	6 1.7	9 2.6
植田地区	415 100.0	262 63.1	316 76.1	266 64.1	190 45.8	133 32.0	3 0.7	4 1.0	13 3.1
大南地区	142 100.0	93 65.5	101 71.1	94 66.2	52 36.6	45 31.7	5 3.5	7 4.9	3 2.1
大在地区	132 100.0	77 58.3	101 76.5	95 72.0	53 40.2	33 25.0	2 1.5	3 2.3	2 1.5
坂ノ市地区	93 100.0	65 <b>69.9</b>	76 81.7	74 <b>79.6</b>	51 <b>54.8</b>	35 <b>37.6</b>	3 3.2	2 2.2	0 0.0
佐賀関地区	46 100.0	33 <b>71.7</b>	38 <b>82.6</b>	30 65.2	23 <b>50.0</b>	10 21.7	0 0.0	1 2.2	1 2.2
野津原地区	21 100.0	13 61.9	17 81.0	15 71.4	11 <b>52.4</b>	7 33.3	0 0.0	0 0.0	2 9.5

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの

## 問21 夜間急患センターの望ましいか所数

問20のような機能を備えた「夜間急患センター」を設置する場合、大分市の人口や面積を考慮して、何か所が望ましいですか。



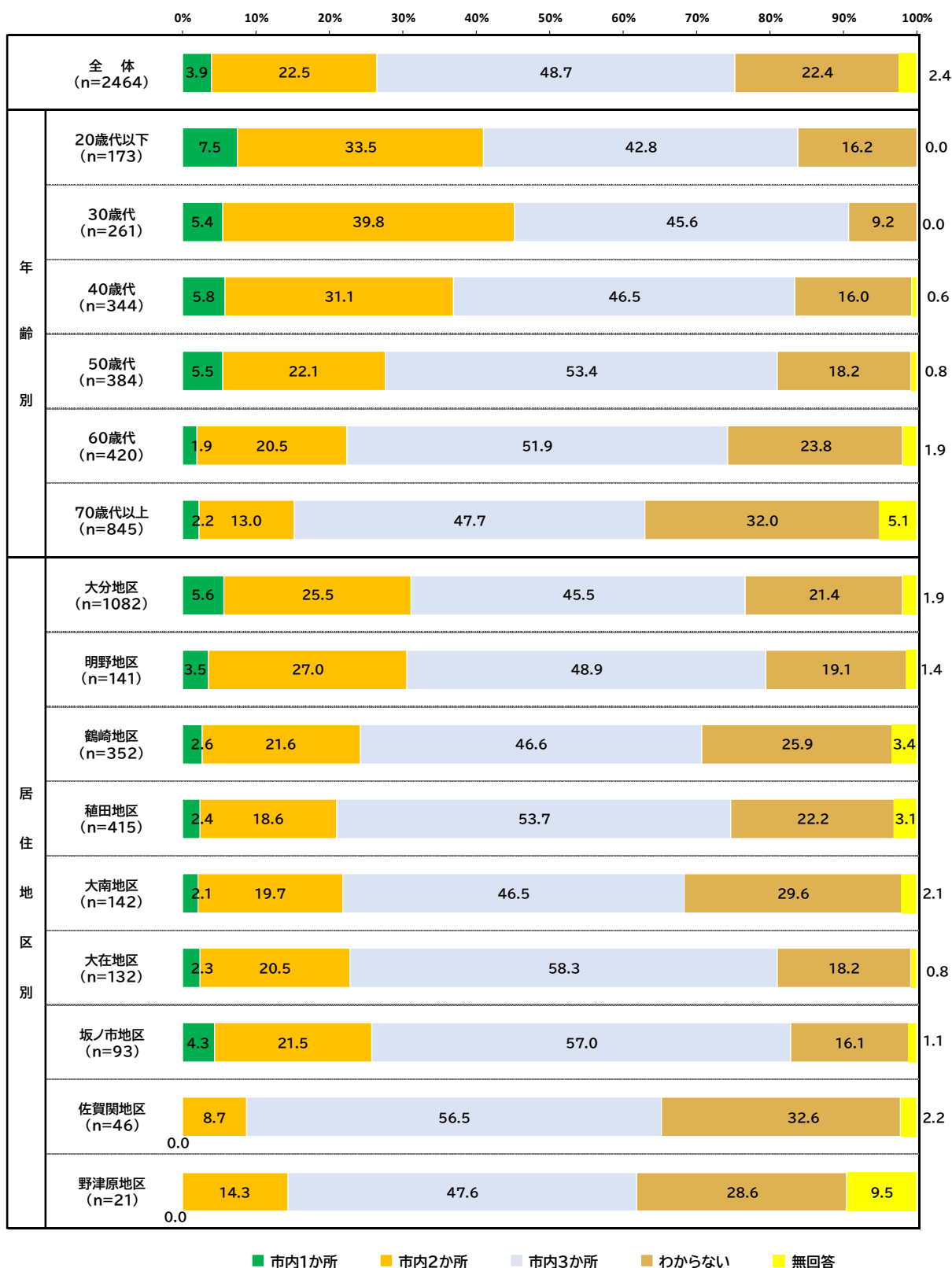
「夜間急患センター」の望ましいか所数としては、「市内3か所」が48.7%と最も多くなっています。次いで「市内2か所」が22.5%、「市内1か所」が3.9%となっています。また、「わからない」が22.4%となっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、いずれの年齢層も「市内3か所」が最も多くなっています。
- 居住地区別にみると、どの地区も「市内3か所」が最も多くなっていますが、大在地区(58.3%)、坂ノ市地区(57.0%)、佐賀関地区(56.5%)、植田地区(53.7%)では5割を超えています。

問20のような機能を備えた「夜間急患センター」を設置する場合、大分市の人口や面積を考慮して、何か所が望ましいですか。

【属性別グラフ】



問20のような機能を備えた「夜間急患センター」を設置する場合、大分市の人口や面積を考慮して、何か所が望ましいですか。

【属性別数表】

	サンプル数	市内1か所	市内2か所	市内3か所	わからない	無回答
上段:実数 下段:パーセント						
全体	2464 100.0	97 3.9	555 22.5	1200 48.7	552 22.4	60 2.4

【年齢別】

20歳代以下	173 100.0	13 7.5	58 33.5	74 42.8	28 16.2	0 0.0
30歳代	261 100.0	14 5.4	104 39.8	119 45.6	24 9.2	0 0.0
40歳代	344 100.0	20 5.8	107 31.1	160 46.5	55 16.0	2 0.6
50歳代	384 100.0	21 5.5	85 22.1	205 53.4	70 18.2	3 0.8
60歳代	420 100.0	8 1.9	86 20.5	218 51.9	100 23.8	8 1.9
70歳代以上	845 100.0	19 2.2	110 13.0	403 47.7	270 32.0	43 5.1

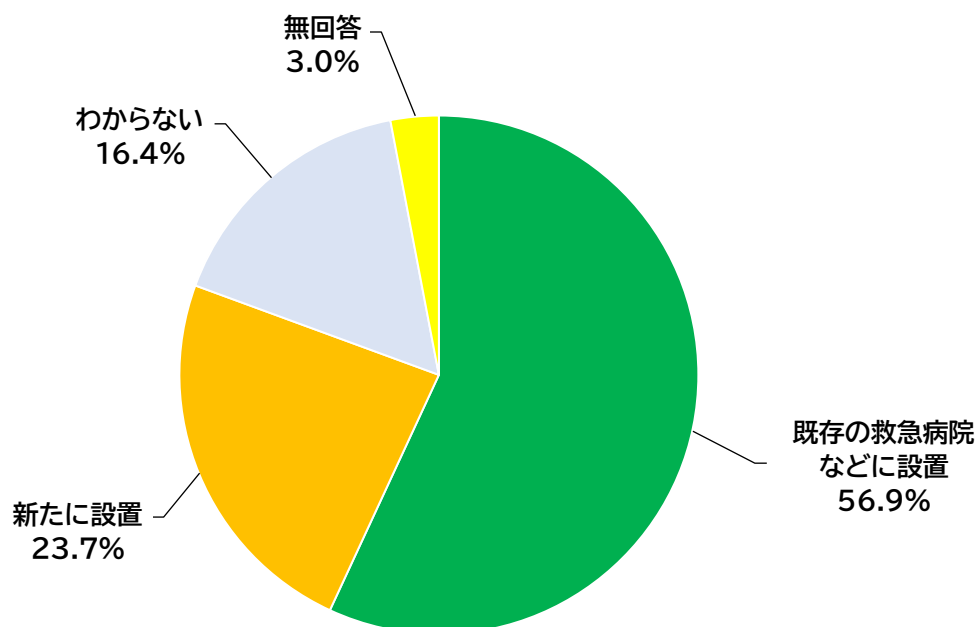
【居住地区別】

大分地区	1082 100.0	61 5.6	276 25.5	492 45.5	232 21.4	21 1.9
明野地区	141 100.0	5 3.5	38 27.0	69 48.9	27 19.1	2 1.4
鶴崎地区	352 100.0	9 2.6	76 21.6	164 46.6	91 25.9	12 3.4
植田地区	415 100.0	10 2.4	77 18.6	223 53.7	92 22.2	13 3.1
大南地区	142 100.0	3 2.1	28 19.7	66 46.5	42 29.6	3 2.1
大在地区	132 100.0	3 2.3	27 20.5	77 58.3	24 18.2	1 0.8
坂ノ市地区	93 100.0	4 4.3	20 21.5	53 57.0	15 16.1	1 1.1
佐賀関地区	46 100.0	0 0.0	4 8.7	26 56.5	15 32.6	1 2.2
野津原地区	21 100.0	0 0.0	3 14.3	10 47.6	6 28.6	2 9.5

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの

## 問22 夜間急患センターの設置方法

「夜間急患センター」は既存の救急病院などに設置が良いと考えますか。新たに設置すべきと考えますか。



全 体(n=2464)

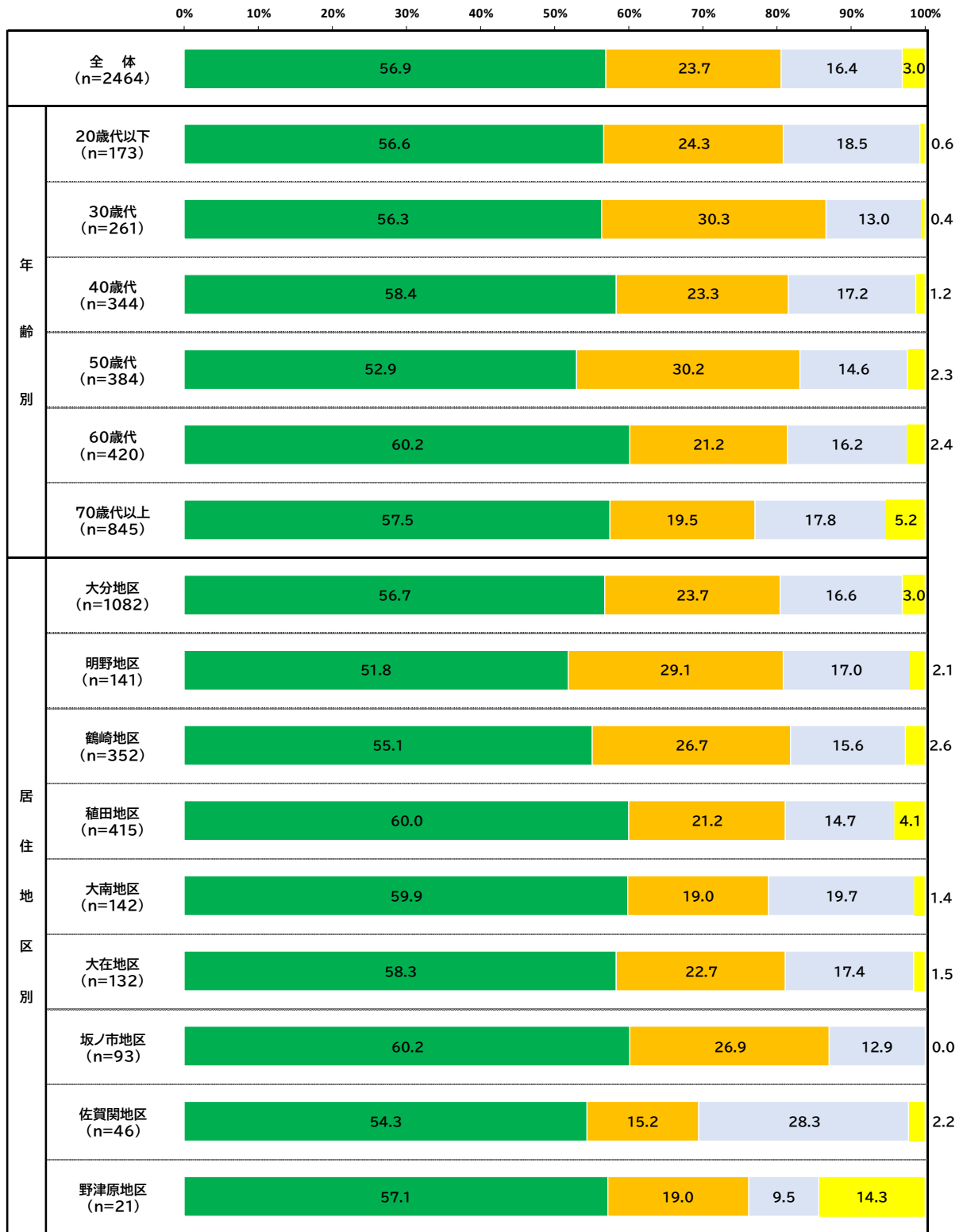
「夜間急患センター」の設置方法としては、「既存の救急病院などに設置」が 56.9%と最も多く、「新たに設置」が 23.7%、「わからない」が 16.4%となっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、どの年齢層で「既存の救急病院などに設置」が最も多くなっています。
- 居住地区別にみると、どの地区でも「既存の救急病院などに設置」が最も多くなっています。

「夜間急患センター」は既存の救急病院などに設置が良いと考えますか。新たに設置すべきと考えますか。

【属性別グラフ】



■ 既存の救急病院などに設置 ■ 新たに設置 ■ わからない ■ 無回答

「夜間急患センター」は既存の救急病院などに設置が良いと考えますか。新たに設置すべきと考えますか。

【属性別数表】

上段:実数 下段:パーセント	サンプル数	設置 既存の 救急病院 などに	新 たに 設 置	わ か ら な い	無 回 答
全 体	2464 100.0	1402 56.9	583 23.7	405 16.4	74 3.0

【年齢別】

20歳代以下	173 100.0	98 56.6	42 24.3	32 18.5	1 0.6
30歳代	261 100.0	147 56.3	<b>30.3</b>	34 13.0	1 0.4
40歳代	344 100.0	201 58.4	80 23.3	59 17.2	4 1.2
50歳代	384 100.0	203 52.9	<b>30.2</b>	56 14.6	9 2.3
60歳代	420 100.0	253 60.2	89 21.2	68 16.2	10 2.4
70歳代以上	845 100.0	486 57.5	165 19.5	150 17.8	44 5.2

【居住地区別】

大分地区	1082 100.0	614 56.7	256 23.7	180 16.6	32 3.0
明野地区	141 100.0	73 51.8	<b>29.1</b>	24 17.0	3 2.1
鶴崎地区	352 100.0	194 55.1	94 26.7	55 15.6	9 2.6
穂田地区	415 100.0	249 60.0	88 21.2	61 14.7	17 4.1
大南地区	142 100.0	85 59.9	27 19.0	28 19.7	2 1.4
大在地区	132 100.0	77 58.3	30 22.7	23 17.4	2 1.5
坂ノ市地区	93 100.0	56 60.2	25 26.9	12 12.9	0 0.0
佐賀関地区	46 100.0	25 54.3	7 15.2	<b>28.3</b>	1 2.2
野津原地区	21 100.0	12 57.1	4 19.0	2 9.5	3 14.3

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの